

水泳

出

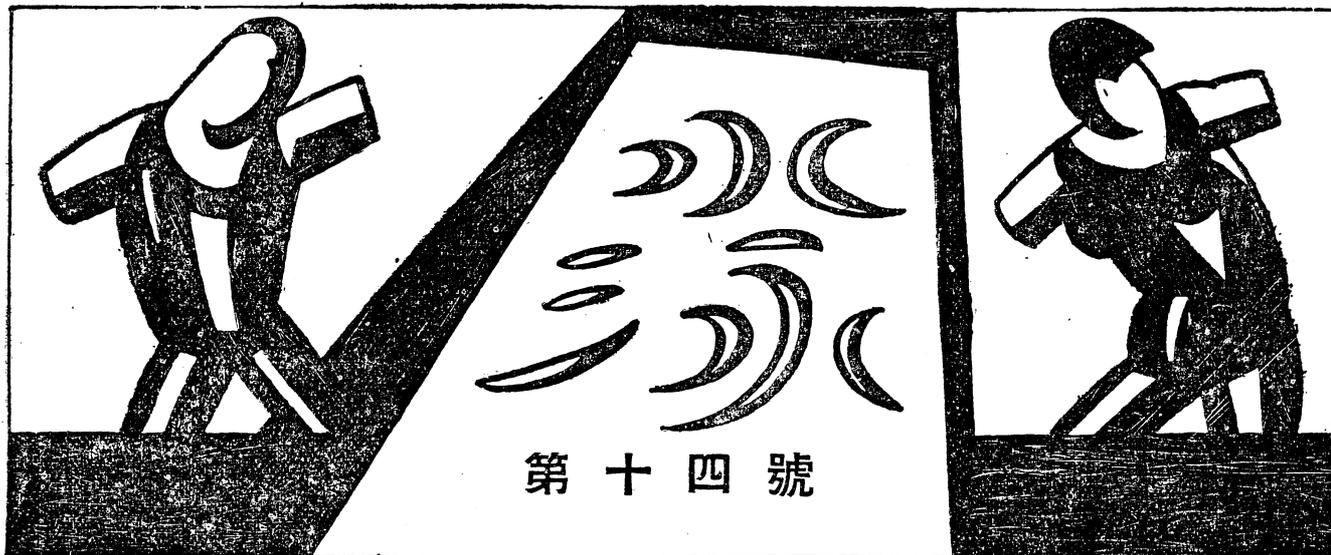
オリンピック優勝號

昭和七年十月發行

1932

NO.14

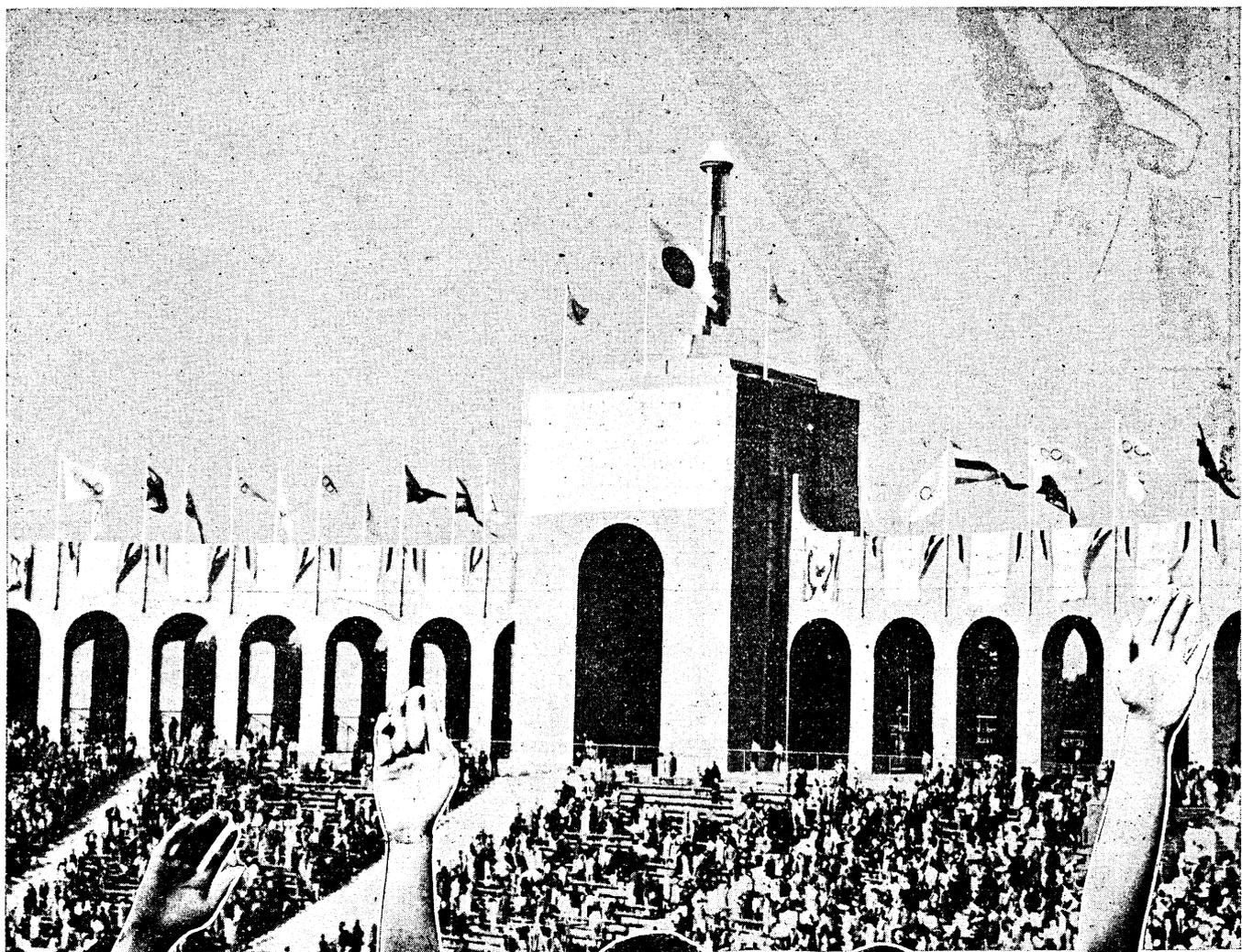
日本水泳競技連盟



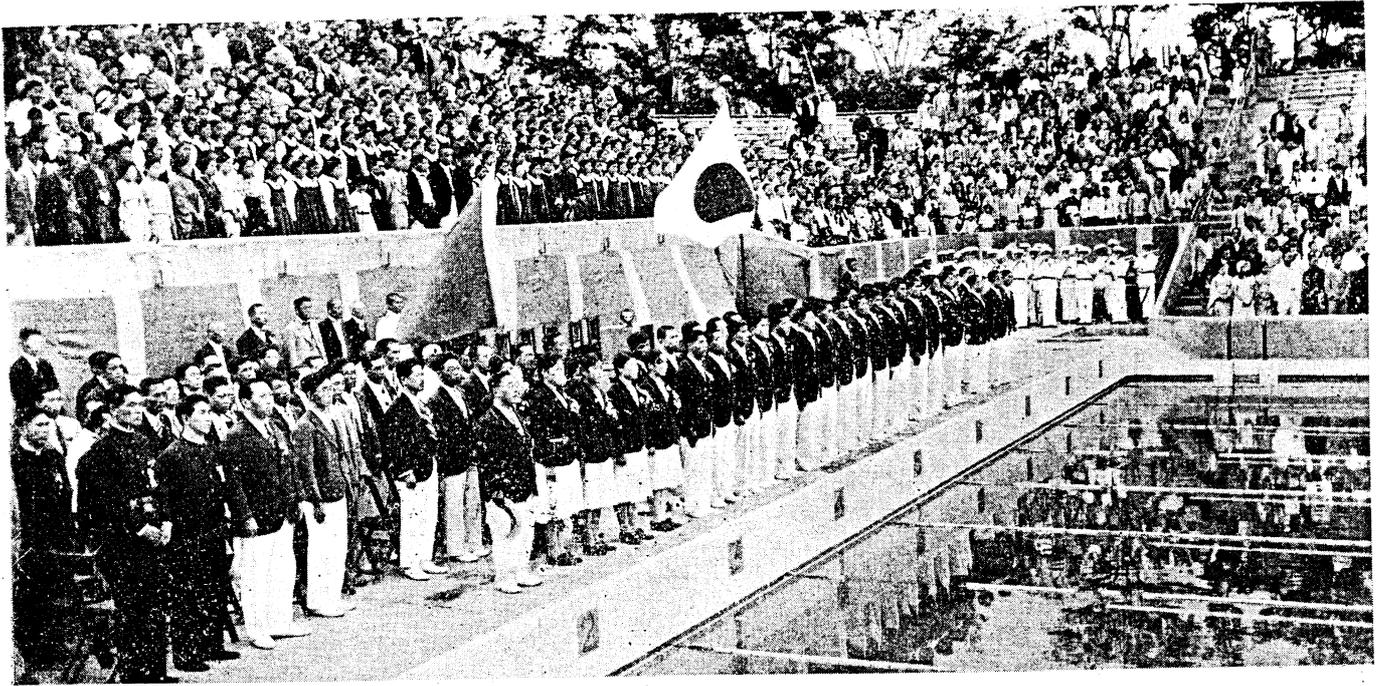
日本水上競技聯盟機關雜誌

目 次

100 米背泳に三本の日章旗翻る	(2)
オリンピック代表を迎ふ	末 弘 巖 太 郎 (3)
オリンピック水上競技戦績	日本水上競技聯盟 (5)
100米 自由形決勝	(6)
1500米 決 勝	(10)
女子 200 米平泳決勝	(14)
男子 高 飛 込	(18)
オリンピック飛込競技	島 崎 保 正 (19)
水 球 競 技	(22)
オリンピック水球競技	藤 田 明 (23)
オリンピック・プールの長さ。オリンピック競技の時計	(25)
800米 リ レ ー	(26)
オリンピック選手は語る	(27)
200米 平 泳 決 勝	(30)
各地水上競技會情報	編 輯 部 (35)
正 誤 表	(41)
第十一回 全 國 學生水上競技大會	(42)



100米 背 泳 に 三 本 の 日 章 旗 翻 る
右から 清川(I) 入江(II) 河津(III)



オリンピック代表を迎ふ

日本水上競技聯盟會長 末 弘 嚴 太 郎

日本水上競技聯盟を代表して一言歓迎の言葉を申述べたいと思ひます。

吾々の敬愛する水上競技選手並に役員諸君！ 諸君は光榮ある祖國日本を代表して遠くロサンジェルの地に赴き、全世界人環視の下に、各國を代表する水の強豪と戦つて、水泳日本の眞面目を發揮し、獨り其力を以て壓倒的大捷を得たるのみならず、其徳の故を以て模範的スポーツマンたるの名聲を博し之によつて此所に優れたる國日本、此所に優れたる國民日本人ありと言ふ印象を深く世界人の頭腦に刻み込み、以て上は畏くも聖恩の厚きに報じ奉り、下は廣く諸君を後援する國民一般の輿望に添ひ得べき見事な成果を擧げて今茲に目出度く凱旋されたのであります。

吾々は茲に此榮譽ある諸君の勇姿を迎へて實に感慨無量、殆ど之を言現はすべき適當の言葉を見出し得ないのであります。

吾々は諸君の奮闘努力に對して深く感謝の意を表します。諸君の成就された仕事の偉大さを心より讚美するものであります。尙又個々の競技に出場して優勝の榮冠を獲得された個々の選手諸君に對して特に心からお祝ひを申します。しかしながら吾々が此

際最も喜びたいのは今回派遣された水上軍諸君が其關係する競技種目の如何を問はず又役員たると選手たるとを問はず、すべて力を合はせて統制ある強固な團體を結成し、以て一體として外敵に當られたことでありまして、此事あればこそ今回の壓倒的優勝が得られ、吾々の多年待望した水泳王國の建設が實現されたのだと考へます。此意味に於て吾々は今茲に克く統制の實を擧げ克く統制に服して協力奮闘された水上軍諸君一同に對して心からお禮を申しお祝ひを申す次第であります。

しかしながら、今かくの如くにして絶大なる光榮を荷負つて凱旋された諸君が、今や世界水泳界の第一人者として世界の水泳を指導すべき重い地位に立つに至られたこと、そして又來るべき四年後のオリンピック大會に於ては勿論、永く今後に向つて此水泳日本の世界的優越を保持するのみならず更に一層之を完全なものたらしむべき重い責任をもつて居られることを考へ合はせて見ると、諸君も又吾々も今日最早既に徒に勝利の光榮に陶醉して居るべき時ではないと言ふことを痛感するのであります。諸君は今茲につぶさに個々の競技に於ける勝利の跡敗北の跡を尋ねて深く其原因を考へねばなりません。

想ふに諸君今回の勝敗を決した要素は多々あるの
でありまして一々枚擧する暇がありませんが、其主
なるものをあげると次の三であると思ひます。

第一は技術の優劣でありまして、今回吾が男子競
泳の壓倒的優勝は實に日本泳法の勝利であり、其他
の競技に於てそれ程までの成績を現はし得なかつた
のは其等の競技に於ける技術が劣つてゐたからであ
ります。此意味に於て競泳選手は一面に於てかくの
如き、世界に優れた日本泳法を築き上げるのに貢献
した諸先輩指導者に對して深く感謝する所がなけれ
ばならないと共に、今後益々研究して技術の向上を
計らねばなりません。そうして又競泳以外の選手は
今回の經驗に鑑みて鋭意技術の研究に力め、來るべ
きオリンピックに於ては競泳に劣らざる立派な成績
を擧げられるやう希望いたします。

第二に吾々の考へなければならぬ事柄は、組織
の力統制の力と言ふことであります。吾が日本水上
競技聯盟が全員の固い結束によつて其全力をオリム
ピックに集中し得たこと、そして昨秋此方吾が聯
盟の諸指導者殊に松澤監督の嚴格にして而かも溫情
ある統制と極めて用意周到なる指導との下に選手が
一心一體となつて猛練習を爲し得たこと。

此等のことこそ今回の壓倒的優勝の最大原因であ
りまして、現にオリンピック大會に臨みましても、
此の固い統制があればこそ松澤監督は自信を以て多
數選手の内から個々の競技に出場すべき選手を自由
に而かも全く情實を超越して選擇することが出來た
のであります。此故に今回の優勝に於ける名譽はひ
とりに出場した選手優勝した個々の選手のみの獨占す
べきものではないのでありまして、松澤監督をして
かくの如き自信ある選擇を爲すことを可能ならしめ
た選手全員の規律ある行動こそ此壓倒的優勝の基礎
をなしたものであると私は信するのでありまして、
此所に列席された諸君に於かれても此點を十分御理
解下さつて、高石主將を初め不出場の諸選手に對し
ても大に敬意を表されむことを希望するものであり
ます。

尙第三に吾々の考ふべきは熱誠なる舉國一致的後
援の力であります。吾々は今回のオリンピックに對
する準備として過去四年間色々のことをいたしました
が、其中の最も重要なものとして此明治神宮外苑
のプールを建設奉獻することを企てました。所が幸
にして多數の方々の御贊助を得て其目的を達し、之
によつて選手に對して十分な練習と試合の機會を興
へ得たことが今回の優勝に貢献する所が非常に大き
いのでありまして、此意味に於て吾々は此機會に於

て此プール建設に對して多大の援助を與へられた皆
様方に對して改めて厚くお禮を申したいと思ひま
す。尙愈々今回吾々の選手がオリンピック大會に於
て戰ふに當つては上は畏くも 聖上陛下より貴き御
下賜品を賜はり、下は國民一般より絶大なる御聲援
を與へられたのでありまして、此事こそは選手に向
つて非常に力強い無形の力を與へ、平素の力量以上
の成績を擧げることが可能ならしめたものでありま
して、選手諸君に於かれても十分此點を理解して深
く感謝する所がなければなりません。

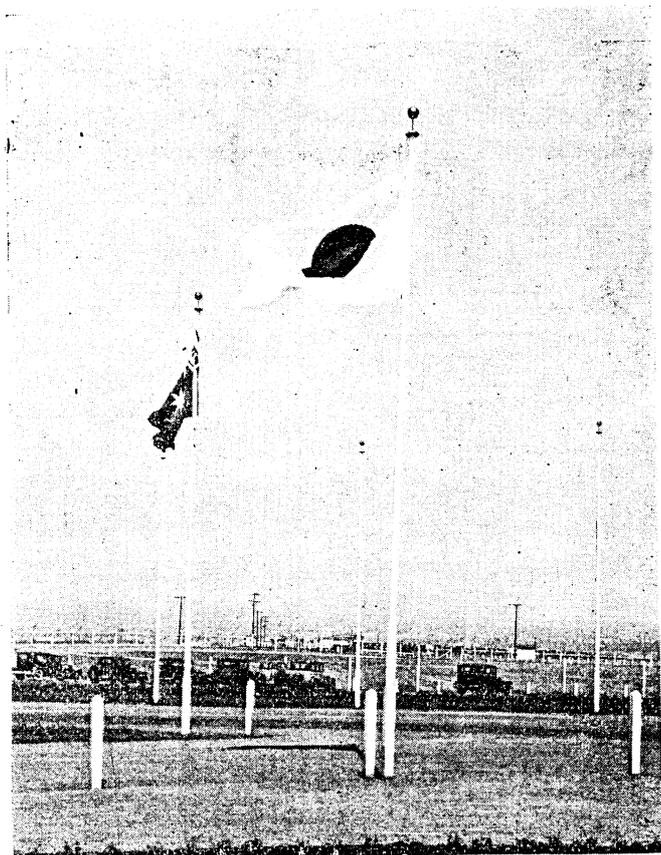
今回の壓倒的優勝は實に無數の要素の集積であつ
て、諸君が今光榮の絶頂に立つてゐるに當つて此事
を反省されることは今回諸君によつて實現された吾
水泳日本の世界的優越を永遠ならしめるにつき最も
大切なことであると思ふのであります。

吾々は最早四年の後に次期のオリンピック大會を
控えて居ります。この爲めには又再び初めから用意
をしなければなりません。過去四年の間吾々
はオリンピック第一主義の名の下に共々に力を合は
せてさゝやかな小石を一々積み上げてピラミッドを
築いた、其頂上の最後の一の石が世界水泳の水準線
の上に僅かに現はれた、其所に吾々水泳日本今日の
榮譽があるのであります。成程優勝しました。しか
しそれは僅に水準線上に現はれた最後の一石である
に過ぎないのであります。此事を考へて見ると、次
のオリンピックに備へる爲には更に初めからもつと
もつと大きい基礎の上に大きなピラミッドを築かな
ければなりません。過去四年の間に築いたピラミッ
トの上には最早一の石をも積み上げることは出來ま
せん、而かも世界水泳の水準線は今日以後刻々に上
つて行くのであらうことが豫期されます。此故に次
のオリンピックに備へる爲めには又初めから根氣よ
く新しい一層大きなピラミッドを築いて其尖端を高
く高く世界水泳の水準線上に聳えしめる覺悟がなけ
ればならないのでありまして、吾々は茲に諸君を歡
迎する言葉の最後として此偉大にして困難な仕事こ
そは諸君の明日からの重い責任であることを申し上げ
たいのであります。

(九月八日神宮プールに於ける歡迎報告會に於て)

[カット説明 — 9月8日神宮プールに於ける
歡迎報告會の國旗掲揚式]

× × ×



(オリンピック村の日章旗)

オリンピックの事に就ては、澤山御報告しなければならぬ。先づ順序として、競技結果を記す事とする。今回のオリンピックは新聞の報道戦で可成詳しくニュースとして来て居る様である。此の記事の着順やタイム等は米國オリンピック委員から送つて来たオフィシャル・レポートに據つた。

オリンピック水上競技は、全競技の後半部の重要種目となつて居つた。オリンピックの第七日即八月五日の午前九時から、近代五種競技の水泳(300m自由形タイム・レース)が行はれたが、此は直接水上競技とは何の関係も無い。續いて八月六日の朝から十三日まで前後八日間にわたる大競技が、新設のロスアンゼルス・オリンピック・スイミング・ステーションに於て舉行されたのであつた。

競技は毎日早い時は午前八時から、遅くとも午前十時頃から開始されて、正午頃一旦閉場し、再び午後三時から午後の競技を行ひ、競泳に引續いて最後には大概水球で終るのが通常のプログラムであつた。午前の入場料が一弗、午後の入場料が二弗、参加者が少くてFINAで定まつて居る正規のプログラムさへ満し得ぬ日があつて、時には朝のプログラム等は全然オリンピック種目が行はれぬ日さへあつたがそれでも席が少い位に切符は賣切で、どんな日にも一萬の観客席は殆ど満員の有様であつた。

オリンピック

水上競技戦績

日本水上競技聯盟

加ふるにロスアンゼルスは全然雨の心配の要らぬ獨特の天候であるので、毎日賑かに愉快な競技が續いたのであつた。感想や批評は改めて別の機會に譲る積りである。

以下着順番號に括弧を附したのは、入選若しくは入賞を意味するものである。

男子競泳之部

男子 100m 自由形

豫選 (八月六日午前9.00)

第一組

着順	氏名	所屬	時間	水路
(1)	カリリ(弟)	米國	59.6	(5)
(2)	バラニー	洪牙利	1:00.4	(1)
3	ボーン	カナダ	1:01.1	(6)
4	サットン	英國	1:02.9	(3)
5	タヒーア	亞然丁	1:05.3	(2)
6	ヴイラール	伯刺西	1:08.4	(4)

第二組

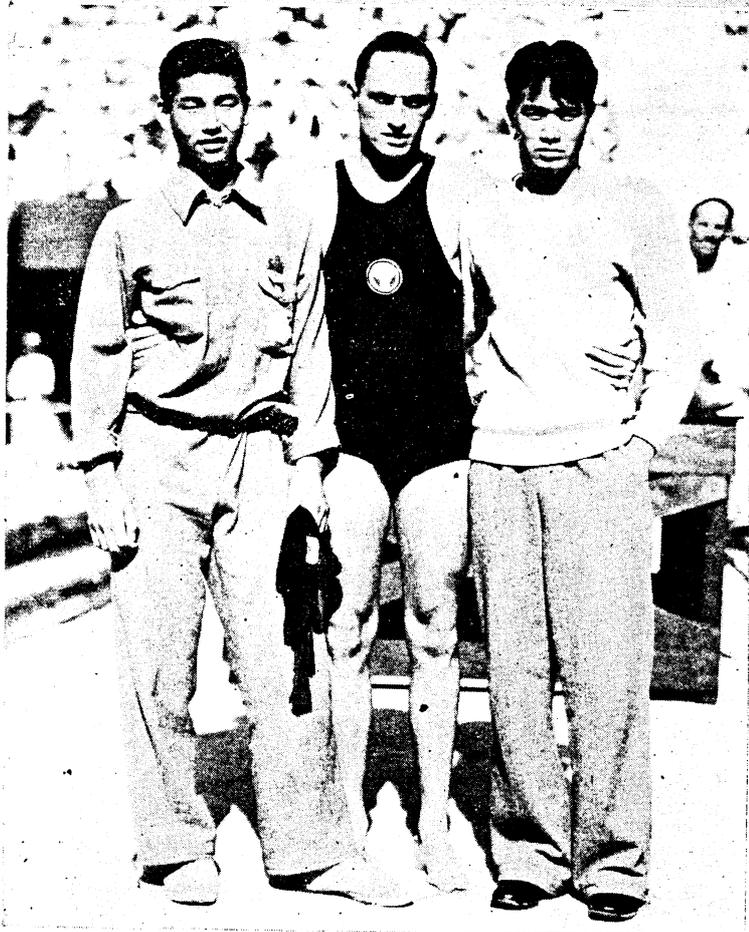
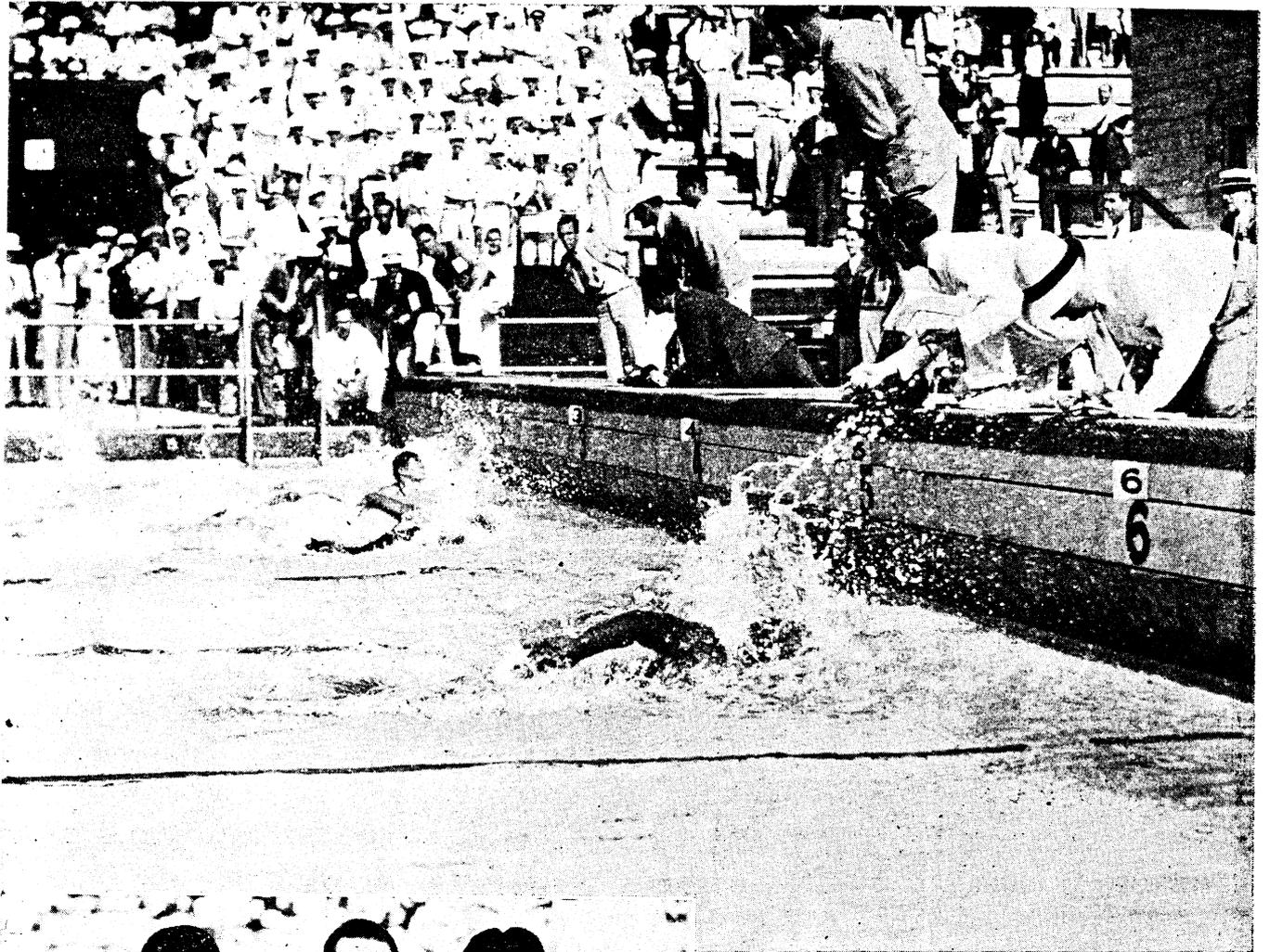
(1)	W スペンス	カナダ	59.3	(5)
(2)	シュワーツ	米國	59.6	(3)
(3)	河石達吾	日本	59.8	(6)
4	ワニ	洪牙利	1:02.8	(1)
5	ウイリアムス	英國	1:05.9	(2)
	ゾリラ	亞然丁		(4) 棄權

第三組

(1)	高橋成夫	日本	59.5	(6)
(2)	トムソン	米國	1:02.0	(5)
3	ロツカ	亞然丁	1:04.2	(4)
4	ホワイトサイド	英國	1:04.7	(2)
5	ルンダール	瑞典	1:06.2	(3)
6	ベレイラ	伯刺西	1:08.2	(1)

第四組

(1)	宮崎康二	日本	58.7	(3)
(2)	セツケリー	洪牙利	1:01.5	(2)



100 米自由形決勝

上 ゴール

コース

着順

1	シュワーツ	(米)	3
2	河石	(日)	2
3	トムソン	(米)	6
4	高橋	(日)	5
5	宮崎	(日)	1
6	カリリ	(米)	4

下 右 から

河石 (II)
 シュワーツ (III)
 宮崎 (I)

- 3 ア リ 比 島 1:02.2 (4)
- 4 ラ イ ア ン 濠 洲 1:02.9 (1)
- 5 ハ ロ ー ラ ン ガ ナ ダ 1:06.9 (6)
- サ ン ト ス 伯 刺 西 (5) 棄 權

- ワ ✓ ニ ー 洪 牙 利 (1) 棄 權
- ゾ リ ラ 亞 然 丁 (2) 棄 權
- マ セ ド ー 伯 刺 西 (5) 棄 權

準 決 勝 (八月六日午後 3:40)

- 第一組
- (1) 宮 崎 康 二 日 本 58.0 (5) オリムピツク新記録
 - (2) ト ム ソ ン 米 國 59.3 (4)
 - (3) カ リ リ (弟) 米 國 59.3 (3)
 - 4 バ ラ ニ ー 洪 牙 利 59.4 (1)
 - 5 セ ッ ケ リ ー 洪 牙 利 1:01.4 (2)
- 第二組
- (1) 河 石 達 吾 日 本 59.0 (4)
 - (2) シ ユ ワ ー ツ 米 國 59.2 (3)
 - (3) 高 橋 成 夫 日 本 59.5 (2)
 - 4 W ス ペ ン ス カ ナ ダ 59.5 (1)

第二組

- (1) ク ラ ブ 米 國 4:59.8 (5) オ新記
- (2) 杉 本 盛 日 本 5:00.2 (4) オ新記
- 3 ウ エ イ ン ラ イ ト 英 國 5:12.0 (2)
- 4 エ ス コ ー ト 墨 國 5:29.1 (3)
- ケ ネ デ イ ー 亞 然 丁 (1) 棄 權
- ⑤ ラ ー レ ス 伯 刺 西 (1) 棄 權

第三組

- (1) チ ャ ー ル ト ン 濠 洲 4:59.8 (2) オ新記
- (2) コ ス ト リ 伊 太 利 5:06.7 (3)
- (3) W ス ペ ン ス カ ナ ダ 5:10.0 (5) ベストサード
- 4 カ ナ シ ー 洪 牙 利 5:40.8 (4)
- 5 ブ シ エ ー ズ 墨 國 5:54.2 (1)

第四組

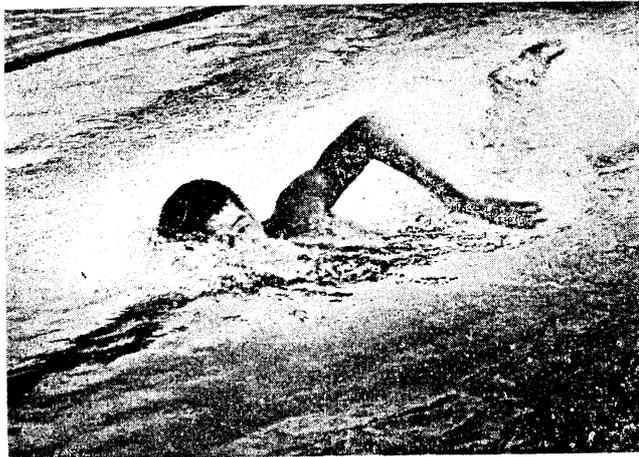
- (1) タ リ ス 佛 蘭 西 4:53.3 (5) オ新記
- (2) ペ レ ン チ ン 伊 太 利 5:09.1 (2)
- 3 レ イ ヴ ア ズ 英 國 5:14.6 (1)
- 4 マ リ ク 印 度 5:59.0 (3)
- バ ー セ ④ ス 米 國 (4) 棄 權

第五組

- (1) ラ イ ア ン 濠 洲 5:01.9 (1)
- (2) 大 横 田 勉 日 本 5:06.3 (5)
- 3 ラ ー ス ン カ ナ ダ 5:20.1 (3)
- ザ バ ド ス 洪 牙 利 (2) 棄 權
- ロ レ ン ツ オ 伯 刺 西 (4) 棄 權

決 勝 (八月七日午後 3:20)

- (1) 宮 崎 康 二 日 本 58.2 (5) オ新記
- (2) 河 石 達 吾 日 本 58.6 (2) オ對記
- (3) シ ユ ワ ー ツ 米 國 58.8 (1)
- 4 カ リ リ (弟) 米 國 59.2 (6)
- 5 高 橋 成 夫 日 本 59.2 (4)
- 6 ト ム ソ ン 米 國 59.5 (3)



(宮崎の力泳)

男 子 400m 自 由 形

豫 選 (八月八日午後 3:10)

- 第一組
- (1) 横 山 隆 志 日 本 4:53.2 (4) オ新記
 - (2) ギ ル フ ラ 米 國 4:53.3 (3) オ新記
 - 3 バ ロ ー ス カ ナ ダ 5:28.9 (6)

準 決 勝 (八月九日午前 10:00)

第一組

- (1) 横 山 隆 志 日 本 4:51.4 (1) オ新記
- (2) タ リ ス 佛 蘭 西 4:52.3 (3) オ新記
- (3) 大 横 田 勉 日 本 4:52.8 (5) オ新記
- 4 ギ ル フ ラ 米 國 4:55.4 (4) オ新記
- 5 ラ イ ア ン 濠 洲 4:59.7 (2) オ新記
- 6 コ ス ト リ 伊 太 利 5:06.0 (6)

第二組

- (1) ク ラ ブ 米 國 4:52.7 (1) オ新記
- (2) 杉 本 盛 日 本 4:59.0 (4) オ新記
- (3) チ ャ ー ル ト ン 濠 洲 5:02.1 (3)
- 4 ペ レ ン チ ン 伊 太 利 5:10.5 (6)
- 5 W ス ペ ン ス カ ナ ダ 5:15.6 (2)

決 勝 (八月十日午後 3:15)

- (1) ク ラ ブ 米 國 4:48.4 (6) オ新記

- (2) タリス 佛蘭西 4:48.5 (1) オ新記
- (3) 大横田 勉 日本 4:52.3 (5) オ新記
- 4 横山 隆志 日本 4:52.5 (2) オ新記
- 5 杉本 盛 日本 4:56.1 (3) オ新記
- 6 チャールトン 濠洲 4:58.6 (4) オ新記



(400米一着クラブ(米)右と二着のタリス(佛左))

男子 1500m 自由形

豫選 (八月十一日午前 10.40)

第一組

- (1) 北村 久壽雄 日本 19:55.2 (2)
- (2) クラブ 米國 20:01.0 (4)
- (3) タリス 佛蘭西 20:01.2 (3) ベスト
- 4 マリク 印度 23:52.4 (1) サード
- ヴェイガンド 伯刺西 (5) 棄權

第二組

- (1) クリスチー 米國 19:58.4 (3)
- (2) 石原田 愿 日本 20:09.5 (5) } 同着
- (3) チャールトン 濠洲 20:09.5 (1) }
- ゾリラ 亞然丁 (2) 棄權
- コンセケオ 伯刺西 (4) 棄權

第三組 (八月十一日午後 3.00)

- (1) フラナガン 米國 20:06.0 (2)
- (2) ライアン 濠洲 20:12.6 (1)

- 3 ペレンチン 伊太利 21:04.5 (4)
- 4 エスコート 墨國 22:39.2 (3)
- ソアーレス 伯刺西 (5) 棄權

第四組

- (1) 牧野 正藏 日本 19:53.3 (3)
- (2) コストリ 伊太利 20:48.1 (2)
- 3 バロース カナダ 22:19.6 (5)
- 4 ブシエーズ 墨國 23:40.0 (1)
- ハラシイ 洪牙利 (4) 棄權

準決勝 (八月十二日午後 3.20)

第一組

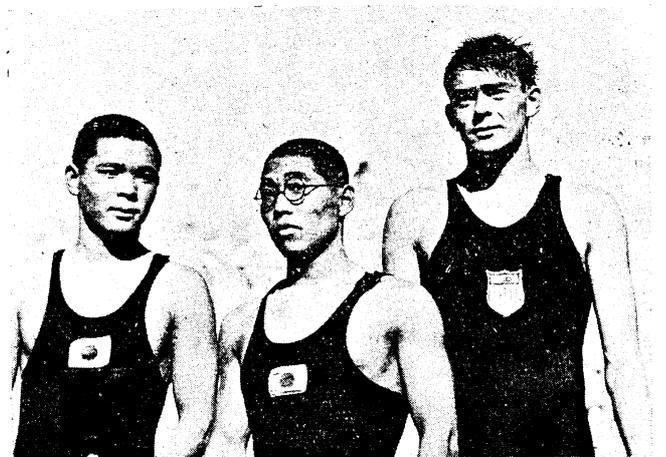
- (1) 北村 久壽雄 日本 19:51.6 (5) オ新記
- (2) タリス 佛蘭西 20:04.2 (1)
- (3) クリスチー 米國 20:06.9 (3) 2
- 4 石原田 愿 日本 20:31.2 (3)
- 5 コストリ 伊太利 20:58.7 (4)

第二組

- (1) 牧野 正藏 日本 19:37.8 (4) オ新記
- (2) クラブ 米國 19:51.8 (5) オ新記
- (3) ライアン 濠洲 19:52.5 (3)
- 4 フラナガン 米國 19:53.1 (1)
- 5 チャールトン 濠洲 20:03.7 (2)

決勝 (八月十三日午後 3.45)

- (1) 北村 久壽雄 日本 19:12.4 (6) オ新記
- (2) 牧野 正藏 日本 19:14.1 (2) オ新記
- (3) クリスチー 米國 19:39.5 (3) オ新記
- 4 ライアン 濠洲 19:45.1 (1) オ新記
- 5 クラブ 米國 20:02.7 (4)
- 6 タリス 佛蘭西 20:09.7 (5)



(1500米の三人左から北村(I) 牧野(II) クリスチー(米)(III))

男子 100m 背泳

選 (八月十一日午前 9.30)

第一組

- (1) 清川正二 日本 1:08.9 (3)
- (2) カーバー 米國 1:13.0 (5)
- 3 ハローラン カナダ 1:14.2 (4)
- 4 ルンゲール 瑞典 1:16.4 (2)
- ピーパー 亞然丁 (1) 棄權

第二組

- (1) ゼーア 米國 1:09.9 (5)
- (2) キュツバース 獨逸 1:10.2 (2)
- (3) 河津憲太郎 日本 1:10.9 (4) ベスト
- 4 フランシス 英國 1:12.9 (1) サード
- 5 ニューンズ 伯刺西 1:21.0 (3)

第三組

- (1) 入江稔夫 日本 1:11.3 (2)
- (2) ボーン カナダ 1:14.3 (4)
- 3 バウアー 伯刺西 1:29.2 (5)
- ヌアー 佛蘭西 (1:16.6)(3) 失格

第四組

- (1) カールセン 諾威 1:13.7 (1)
- (2) チャルマーズ 米國 1:17.2 (2)
- 3 ウォーカー カナダ 1:21.0 (4)
- ミデイロス 伯刺西 (3) 棄棄

準決勝 (八月十一日午後 4.40)

第一組

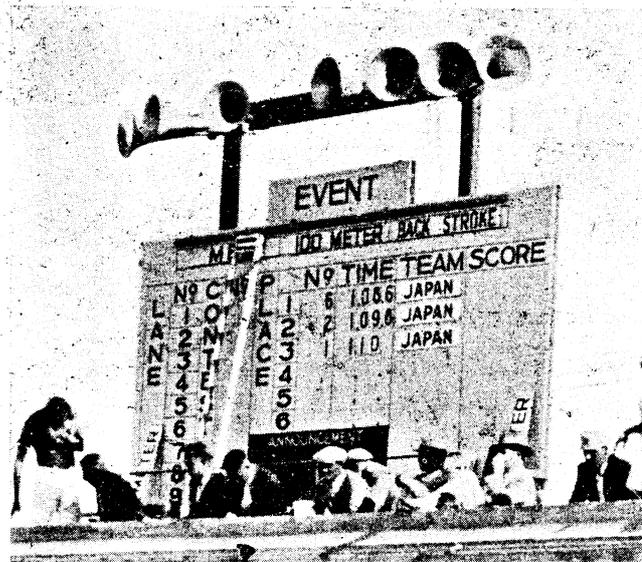
- (1) 清川正二 日本 1:09.0 (1) (4)
- (2) キュツバース 獨逸 1:09.8 (2) (3)
- (3) 河津憲太郎 日本 1:10.2 (4) (5)
- 4 チャルマーズ 米國 1:11.6 (5) (6)
- 5 カールセン 諾威 1:13.3 (1) (2)

第二組

- (1) 入江稔夫 日本 1:10.9 (2)
- (2) ゼーア 米國 1:11.6 (1)
- (3) カーバー 米國 1:13.0 (4)
- 4 ボーン カナダ 1:13.9 (3)

決勝 (八月十二日午後 4.2)

- (1) 清川正二 日本 1:08.6 (6)
- (2) 入江稔夫 日本 1:09.8 (2)
- (3) 河津憲太郎 日本 1:10.0 (3)
- 4 ゼーア 米國 1:10.9 (3)
- 5 キュツバース 獨逸 1:11.3 (4)
- 6 カーバー 米國 1:12.8 (5)



(スコア・ボードに Japan Japan Jnpan)

男子 200m 平泳

選 (八月十一日午後 4.00)

第一組

- (1) 鶴田義行 日本 2:46.2 (5) オ新記
- (2) アチャルデイシ 比島 2:49.9 (2)
- (3) カルトンネ 佛蘭西 2:50.8 (1) ベスト
- 4 フランシス 米國 2:57.2 (6) サード
- 5 ヘイナー 瑞典 3:00.7 (4)
- 6 フォーセル 伯刺西 3:14.6 (3)

第二組

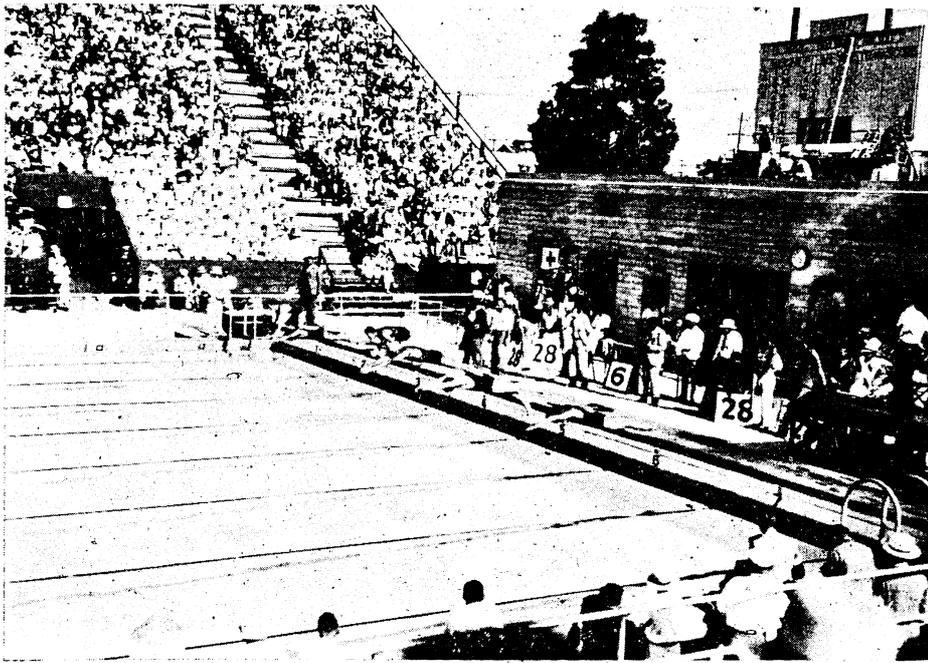
- (1) 小池禮三 日本 2:46.2 (4) オ新記
- (2) ジータス 獨逸 2:51.0 (5) 2
- 3 カラバロ 亞然丁 2:55.0 (3)
- 4 モールス 米國 2:56.8 (6)
- 5 ワインダム カナダ 3:12.4 (1)
- ハーヴェランデ 伯刺西 (2) 棄權

第三組

- (1) イルデフォンゾ 比島 2:53.7 (4)
- (2) W スペンス カナダ 2:56.5 (1)
- 3 シエーベル 佛蘭西 2:56.6 (2)
- 4 バウルソン 米國 3:00.1 (5)
- 5 レイエス 墨國 3:15.2 (5) 3

第四組

- (1) ラインゴールト 芬蘭 2:53.6 (5)
- (2) 中川重雄 日本 2:55.0 (4)
- ブルシヨウ 亞然丁 (2) 棄權
- サントス 伯刺西 (3) 棄權



1500 米 決 勝

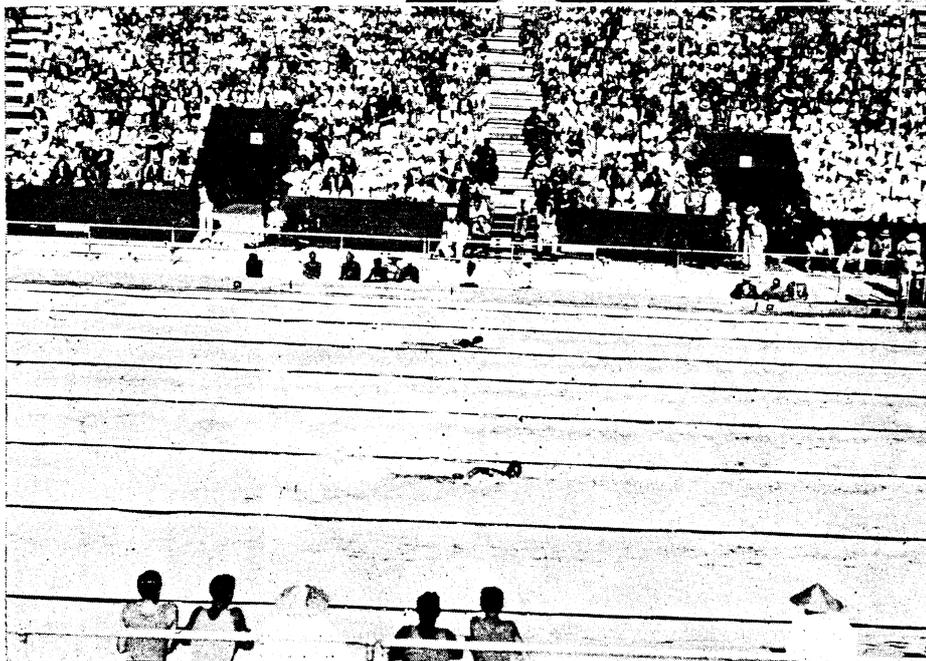
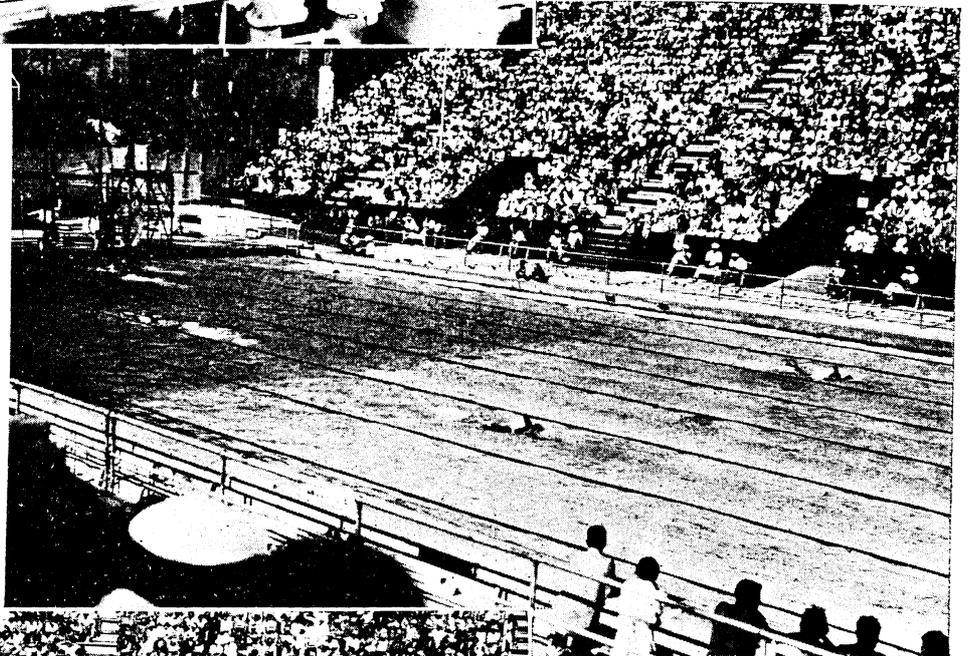
ス タ ー ト

コース	着順
1 ライアン(濠)	4
2 牧 野(日)	2
3 クリスチー(米)	3
4 ク ラ ブ(米)	4
5 タ リ ス(佛)	6
6 北 村(日)	1

1000 → 1100 米 に 於
ける 形 勢

北 村(下 牧 野(上)

既に 群 を 抜 く



Last lap に 於 ける

北 村、牧 野 の

決 戦

L スペンス ギアナ 不参加
(L スペンスは FINA 実行委員会の決議に依り参加を拒否せられたり)

準決勝 (八月十二日午後 3.00)

第一組

- (1) 小池禮三 日本 2:44.9 (5) オ新記
- (2) 鶴田義行 日本 2:45.4 (3) オ新記
- (3) アジャルデイン 比島 2:50.2 (2)
- 4 カルトンネ 佛蘭西 2:50.9 (4)
- 5 ラインゴールト 芬蘭 2:54.9 (1)

第二組

- (1) ジータス 獨逸 2:47.6 (1) オ新記
- (2) イルデフオンゾ 比島 2:43.4 (3) オ新記
- (3) 中川重雄 日本 2:52.4 (4)
- 4 W スペンス カナダ 2:52.7 (2)

決勝 (八月十三日午後 3.15)

- (1) 鶴田義行 日本 2:45.4 (5) オ新記
- (2) 小池禮三 日本 2:46.6 (6) オ新記
- (3) イルデフオンゾ 比島 2:47.1 (4) オ新記
- 4 ジータス 獨逸 2:48.0 (1) オ新記
- 5 アジャルデイン 比島 2:49.2 (2)
- 6 中川重雄 日本 2:52.8 (3)

男子 800m リレー

決勝 (八月九日午後 3.15)

- (1) { 宮崎康二
遊佐正憲
豊田久吉
横山隆志 } 日本 8:58.4 (4) オ新記
- (2) { ブー
フィツスラー
カリリ(弟)
カリリ(兄) } 米國 9:10.5 (2) オ新記
- (3) { ワ
サバドス
セツケリー
バラニー } 洪牙利 9:31.4 (5) オ新記
- (4) { ラースン
バロース
ボ
W スペンス } カナダ 9:36.3 (6)
- (5) { ホワイトサイド
レイヴアース } 英國 9:45.8 (1)

- (6) { サットン
ウィリアムス
ケネディー
タヒーア
ピーパー
ロツカ } 亞然丁 10:13.1 (7)
- (7) { シルヴァ
モラエス
ヴィラール
ニコーンズ } 伯刺西 10:36.5 (3)

女子競泳之部

女子 100m 自由形

豫選 (八月六日午後 3.00)

第一組

- (1) ラッデ 和蘭 1:12.1 (1)
- (2) コ^oゲール 佛蘭西 1:12.2 (3)
- 3 デヴイス 英國 1:12.7 (2)
- 4 松澤初穂 日本 1:17.1 (4)
- 5 リントン カナダ 1:19.9 (5)

第二組

- (1) クーパー 英國 1:09.0 (3) オ新記
- (2) マツキム 米國 1:09.3 (4) オ新記
- (3) ブルト 濠洲 1:11.4 (2) ベストサード
- 4 ファイルターク 和蘭 1:13.3 (1)
- 5 ミュレン カナダ 1:15.2 (5)

第三組

- (1) マチソン 米國 1:08.9 (4) オ新記
- (2) マーカー 南阿 1:11.0 (2) オ對記
- 3 アンダースン 丁抹 1:11.6 (1)
- 4 ヒューズ 英國 1:15.1 (3)
- 5 小島一枝 日本 1:16.2 (5)

第四組

- (1) サヴィール 米國 1:08.5 (3) オ新記
- (2) デンウーデン 和蘭 1:09.2 (5) オ新記
- 3 荒田雪江 日本 1:16.1 (4)
- 4 ピリー カナダ 1:16.3 (2)
- 5 レンク 伯刺西 1:25.8 (1)

準決勝 (八月七日午後 3.10)

第一組

- (1) デンウーデン 和蘭 1:07.6 (5) オ新記
- (2) サヴィール 米國 1:08.8 (4) オ新記
- (3) マツキム 米國 1:08.8 (1) オ新記

- 4 クーバー 英國 1:09.2 (3) オ新記
- 5 ゴダール 佛蘭西 1:14.1 (2)

第二組

- (1) マチソン 米國 1:09.9 (4) オ新記
- (2) ブルト 濠洲 1:10.2 (4)
- (3) マーカール 南阿 1:10.6 (2)
- 4 ラッデ 和蘭 1:11.8 (1)

決勝 (八月八日午後 3.0)

- (1) マチソン 米國 1:06.8 (6) オ新記
- (2) デンウーデン 和蘭 1:07.8 (4) オ新記
- (3) サヴィル 米國 1:08.2 (5) オ新記
- 4 マツキム 米國 1:09.3 (2) オ新記
- 5 ブルト 濠洲 1:09.9 (3) オ新記
- 6 マーカール 南阿 1:10.8 (1)



(ヘレン・マチソン 米)

女子 400m 自由形

豫選 (八月十一日午前 10.00)

第一組

- (1) クーバー 英國 5:16.7 (1)
- (2) フォーブス 米國 5:57.8 (3)
- (3) ゴダール 佛蘭西 5:57.8 (2) ベスト
- 4 ピリ ー カナダ 6:22.2 (4) サード
- レンク 伯刺西 (5) 棄權

第二組

- (1) マチソン 米國 5:44.5 (4)
- (2) ファリブセン 和蘭 5:50.5 (1)
- 3 エドワーズ カナダ 6:27.2 (2)
- デヴィス 英國 (3) 棄權

第三組

- (1) カイト 米國 5:40.9 (3) オ新記
- (2) オヴァスロート 和蘭 5:50.3 (2)

- 3 ブルト 濠洲 6:03.0 (1)
- ケニヨン 英國 (4) 棄權

第四組

- (1) マーカール 南阿 5:53.9 (2)
- (2) アンダーセン 丁抹 6:05.1 (1)
- 3 守岡初子 日本 6:07.4 (3)
- 4 カ ー カナダ 6:25.7 (4)

準決勝 (八月十二日午前 9.45)

第一組

- (1) マチソン 米國 5:48.7 (4)
- (2) マーカール 南阿 6:00.6 (1)
- (3) フォーブス 米國 6:22.1 (2)
- オヴァスロート 和蘭 (3) 棄權
- ファイリブセン 和蘭 (5) 棄權
- ブラウン

第二組

- (1) カイト 米國 5:50.8 (3)
- (2) ゴダール 佛蘭西 6:00.1 (1)
- (3) クーバー 英國 6:00.4 (4)
- 4 アンダーセン 丁抹 6:05.5 (2)

決勝 (八月十三日午後 3.30)

- (1) マチソン 米國 5:28.5 (3) } オ世
- (2) カイト 米國 5:28.6 (6) } 新記
- (3) マーカール 南阿 5:47.3 (2)
- 4 クーバー 英國 5:49.7 (1)
- 5 ゴダール 佛蘭西 5:54.4 (4)
- 6 フォーブス 米國 6:06.0 (5)

女子 100m 背泳

豫選 (八月九日午前 10.0)

第一組

- (1) ホルム 米國 1:18.3 (1) オ新記
- (2) ミーリング 濠洲 1:21.6 (2) オ新記
- (3) ハーディング 英國 1:22.5 (5) ベスト
- 4 オヴァスロート 和蘭 1:23.5 (4) サード
- 5 横田操 日本 1:25.1 (3)

第二組

- (1) デーヴィス 英國 1:22.0 (4)
- (2) マーシービー 米國 1:22.5 (5)
- 3 カ ー カナダ 1:28.2 (1)
- 4 レンク 伯刺西 (2) 失格
- デンウーデン 和蘭 (3) 棄權

第三組

- (1) ファリブセン 和蘭 1:23.8 (1)
- ブラウン

- (2) クーパー 英國 1:25.0 (4)
- 3 リントン カナダ 1:29.1 (2)
- マーカール 南阿 (3) 棄權
- ロバート 米國 (5) 棄權

決勝 (八月十一日午後 4:50)

- (1) ホルム 米國 1:19.4 (6) オ新記
- (2) ミーリング 濠洲 1:21.3 (5) オ新記
- (3) デヴィス 英國 1:22.5 (1)
- 4 ハーディング 英國 1:22.6 (2)
- 5 マクシーヒー 米國 1:23.2 (3)
- 6 クーパー 英國 1:23.4 (7)
- ファイリブセン 和蘭 (4) 棄權

女子 200m 平泳

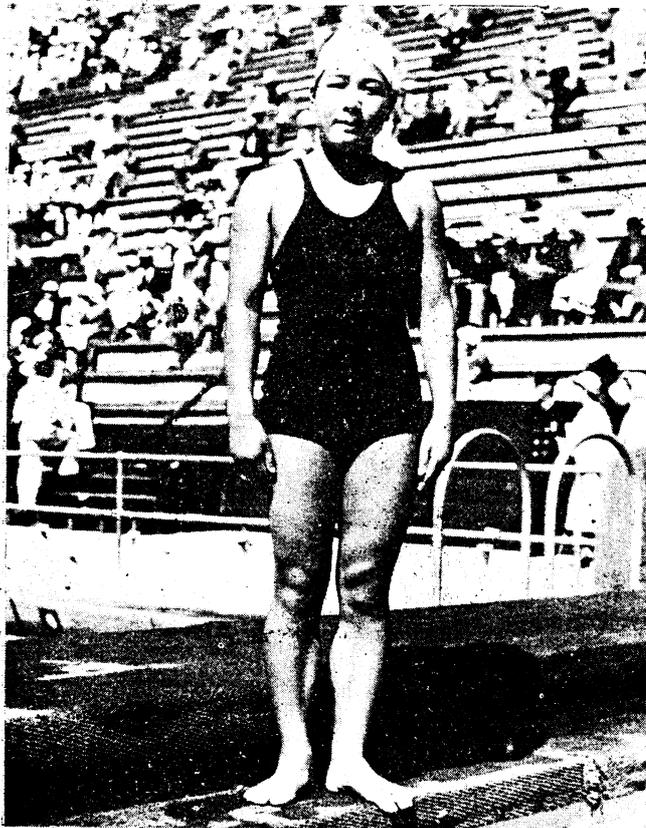
豫選 (八月六日午前 9:30)

第一組

- (1) デニス 濠洲 3:08.2 (1) オ新記
- (2) ホフマン 米國 3:14.7 (4)
- 3 ブライアー カナダ 3:33.2 (3)
- 0 マーカール 南阿 (2) 棄權

第二組

- (1) ヤコブセン 丁抹 3:12.1 (1)
- (2) ガヴェドニク 米國 3:15.9 (4)



(200米平泳二着前畑秀子)

- 3 ウォルステン 英國 3:24.5 (3)
- 4 シーザー カナダ 3:46.1 (2)

第三組

- (1) 前畑秀子 日本 3:10.7 (2) オ新記
- (2) ヒントン 英國 3:13.5 (1)
- (3) キヤドウエル 米國 3:20.0 (4)
- 4 レンク 伯刺西 3:26.6 (3)

決勝 (八月九日午後 3:45)

- (1) デニス 濠洲 3:06.3 (2) オ新記
- (2) 前畑秀子 日本 3:06.4 (4) オ新記
- (3) ヤコブセン 丁抹 3:07.1 (6) オ新記
- 4 ヒントン 英國 3:11.7 (3) オ新記
- 5 ホフマン 米國 3:11.8 (1) オ新記
- 6 ガヴェドニク 米國 3:16.0 (5)
- 7 キヤドウエル 米國 3:18.2 (7)

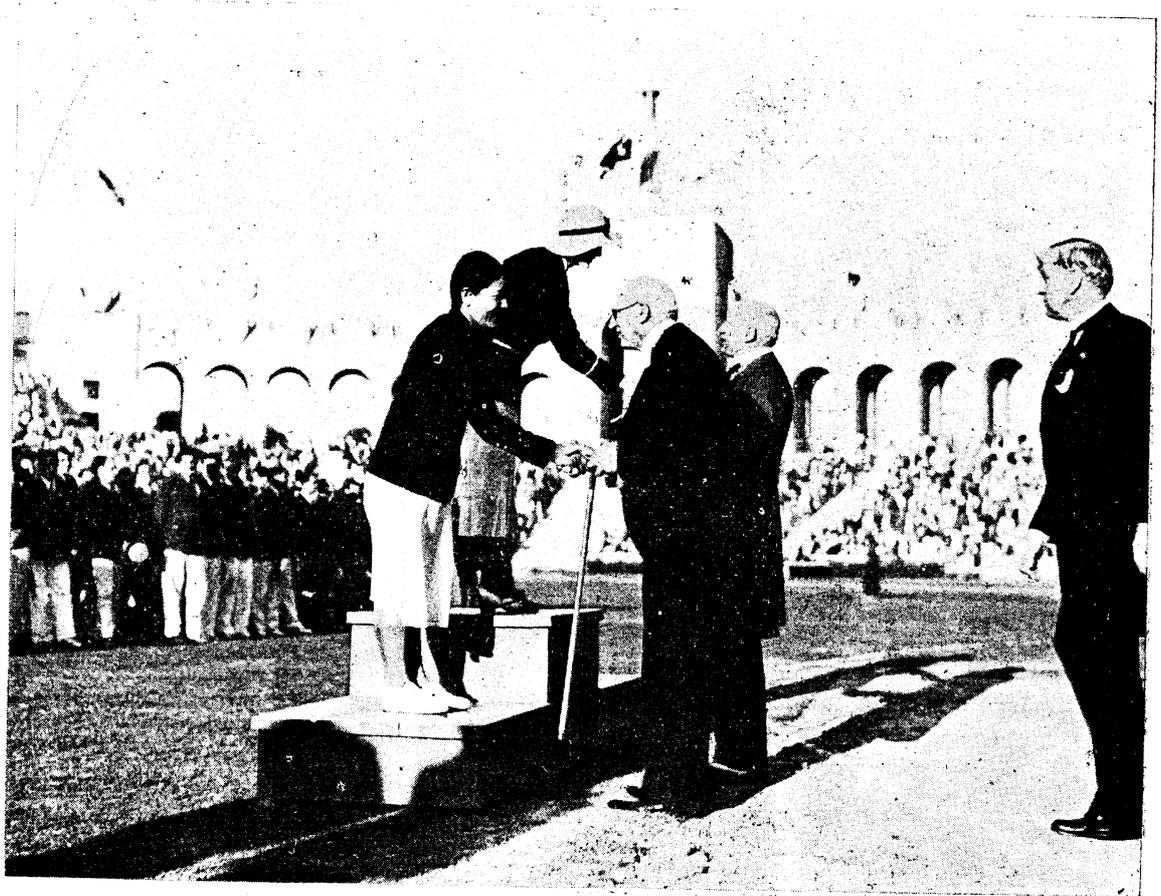
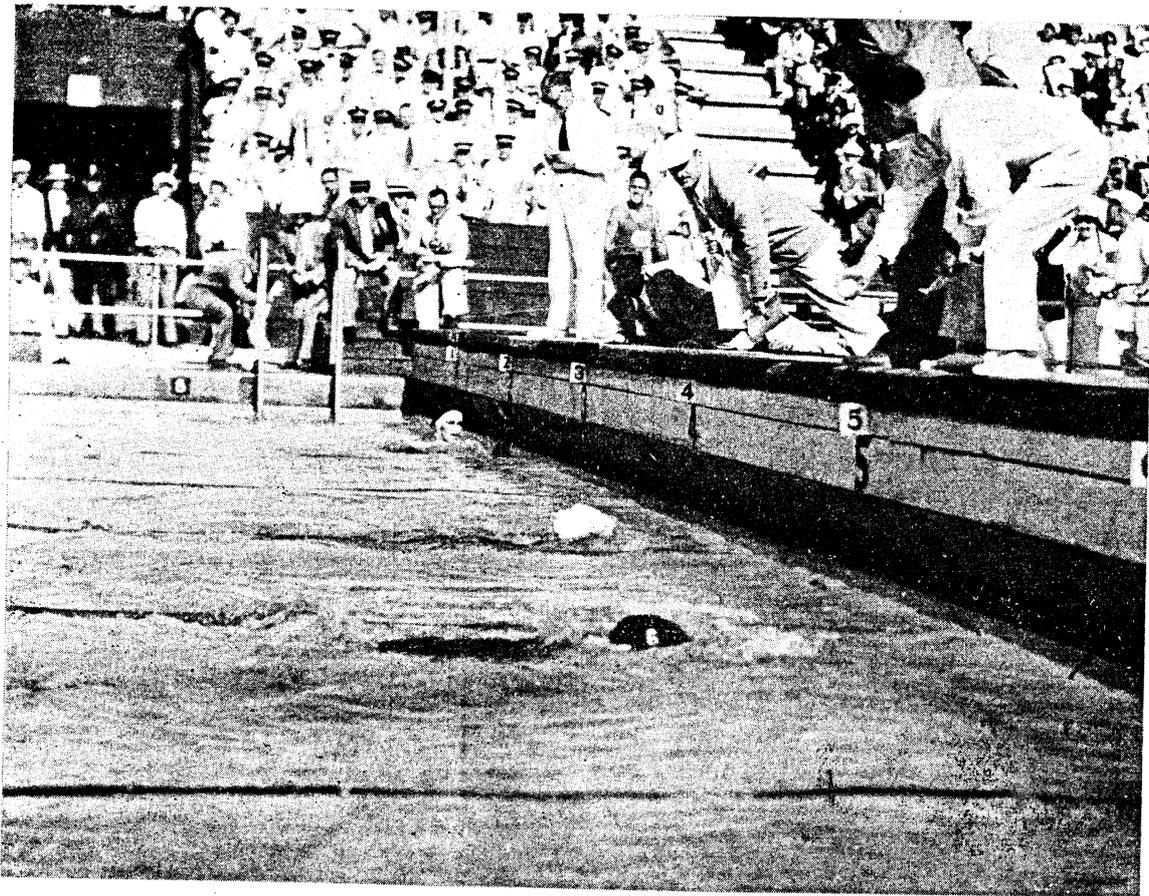
女子 400m リレー

(8.12 4.35 pm)

決勝

- (1) { マツキム
ジヨンズ 米國 4:38.0 (1) オ新記
サヅイル
マデソン
- (2) { フィールターク
オヴァスロート 和蘭 4:47.5 (5) オ新記
ラツデ
デンウーデン
- (3) { デヴィス 英國 4:52.4 (3)
ヴァコー
ヒューズ
クーパー
- (4) { ビリー
カナダ 5:05.7 (4)
ミューレン
エドワーズ
- (5) { 小島一枝
横田操 日本 5:06.7 (2)
守岡初子
荒田雪江

女子二百米平泳決勝



↑ゴール
上から
一着のデニス(濠)
二着の前畑(日)
三着のヤコブセン(丁)

優勝者臺上のデニスと前畑

男子飛板飛込 (八月八日午前 8.00)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
飛込順	2	9	1	3	12	8	4	11	5	13	7	4	10
姓名	Galitzen (米)	Smith (米)	Degener (米)	Philps (加)	Esser (獨)	小林 (日)	Pottard (佛)	生江 (日)	Staudinger (奧)	F. Mariscal (墨)	Scott (加)	Ant. Mariscal (墨)	Alon. Mariscal (墨)
規定飛	1 11.48	11.48	11.20	10.36	10.64	11.20	11.76	11.48	10.92	8.68	9.80	5.60	6.72
	2 13.76	13.12	13.12	12.16	10.56	11.84	12.48	12.80	11.84	10.88	11.20	7.36	9.60
	3 15.12	15.48	14.76	13.68	14.04	14.40	12.60	12.60	12.60	10.80	11.88	10.44	10.08
	4 14.40	13.44	14.08	10.24	10.56	11.84	12.80	10.80	12.16	8.96	11.20	8.64	6.40
	5 16.34	15.96	15.58	13.30	14.82	10.26	11.40	10.64	10.26	13.30	10.26	9.50	7.98
小計	70.38	69.48	68.24	59.74	60.62	59.54	61.04	58.04	67.78	52.62	54.34	41.54	40.78
選擇飛	1 18.92	18.48	20.24	15.96	15.96	16.72	11.34	14.04	15.54	10.44	13.60	11.88	12.60
	2 15.12	15.96	16.38	11.88	11.76	15.54	13.44	12.00	12.64	8.40	8.82	10.80	6.80
	3 10.78	19.32	13.02	16.28	15.60	15.96	15.84	16.34	12.80	14.08	11.02	7.14	8.82
	4 16.00	16.38	14.96	15.20	12.32	12.80	14.40	9.88	13.20	12.80	14.08	13.60	7.44
	5 18.48	18.92	18.48	15.58	18.04	13.20	12.60	14.52	12.58	13.64	8.36	12.32	11.88
得點	161.38	158.54	151.82	134.64	134.30	133.76	128.66	125.18	124.50	111.98	110.22	97.23	88.32

女子飛板飛込 (八月十日午前 8.30)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8
飛込順	2	5	1	6	3	4	7	8
姓名	Coleman (米)	Rawls (米)	Fauntz (米)	Jordan (獨)	Ogilvie (加)	Epply (奧)	鎌倉悦子 (日)	Larsen (丁)
規定飛	1 11.48	11.48	11.20	8.96	9.80	7.84	9.52	7.56
	2 12.80	12.16	13.12	11.84	11.52	11.52	11.30	12.48
	3 13.94	14.62	14.96	12.58	9.52	9.86	7.48	6.46
小計	38.22	38.26	39.29	33.38	30.84	29.22	28.20	26.50
選擇飛	1 16.00	14.80	15.20	15.20	12.96	11.88	13.30	9.00
	2 18.48	16.20	12.16	14.96	12.60	10.00	10.64	12.96
	3 14.82	13.30	15.48	14.06	13.60	12.60	8.64	8.80
得點	87.52	82.56	82.12	77.60	70.00	63.70	60.78	57.26

男子高飛込 (八月十三日午前 9.00)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8
飛込順	4	7	7	3	5	8	1	2
姓名	Smith (米)	Galitzen (米)	Kurtz (米)	Staudinger (奧)	Curiel (墨)	Albo (墨)	Philps (加)	石田英勝 (日)
規定飛	1 10.08	9.84	9.36	8.88	8.40	5.52	7.20	8.40
	2 13.68	14.44	12.54	13.30	8.74	6.46	5.32	3.42
	3 14.40	13.76	14.08	12.80	10.56	11.20	12.16	7.04
	4 15.30	14.62	12.58	11.22	10.88	8.16	7.14	9.52
小計	53.46	52.66	48.56	46.20	38.58	34.34	31.82	28.38
選擇飛	1 17.16	18.48	16.28	13.68	10.80	12.80	14.96	14.82
	2 19.80	17.94	17.10	16.28	10.12	8.80	12.24	7.92
	3 18.08	16.72	20.24	14.96	11.56	9.60	13.68	11.16
	4 16.34	18.48	19.80	12.32	12.76	15.40	4.40	75.04 13.64
得點	124.80	124.28	121.98	103.44	83.82	77.94	77.10	75.92

女子 高 飛 込 (八月十二日午前9.00)

順	飛	込	順	1	2	3	4	5	6	7
姓			名	Poynton (米)	Coleman (米)	Roper (米)	Sjoquist (瑞典)	Darsen (丁)	鎌倉悦子 (日)	Epply (奥)
走前逆飛 (5米)				9.98	8.80	8.58	7.92	7.70	7.26	5.06
立前逆飛 (10米)				9.46	9.24	7.92	8.36	7.70	6.82	6.82
走前逆飛 (10米)				10.80	7.86	9.12	9.60	7.92	7.86	6.24
後踏切前逆飛 (10米)				10.32	9.94	9.60	8.64	8.64	9.60	8.64
得			點	60.26	35.56	35.22	34.52	31.96	31.36	26.76

水球競技之部

米 國	6	(2-0 / 4-1)	1	伯 刺 西	6/8	3.50
洪 牙 利	6	(2-0 / 4-2)	2	獨 逸	6/8	4.45
米 國	10	(3-0 / 7-0)	0	日 本	7/8	4.50
獨 逸	7	(4-1 / 3-2)	3	伯 刺 西	8/8	4.00
洪 牙 利	18	(10-8 / 8-0)	0	日 本	8/8	4.45
獨 逸	4	(3-2 / 1-2)	4	米 國	9/8	4.05
洪 牙 利	7	(4-0 / 3-0)	0	米 國	11/8	5.00
獨 逸	10	(3-0 / 7-0)	0	日 本	12/8	4.55
日 本	5	—	0	伯 刺 西		(失格)
洪 牙 利	5	—	0	伯 刺 西		(失格)

水球戦績一覽表

	洪牙利	獨逸	米國	日本	伯刺西
洪 牙 利	—	○6	○7	○18	×5
獨 逸	●2	—	△4	○10	○7
米 國	●0	△4	—	○10	○6
日 本	●0	●0	●0	—	×5
伯 刺 西	×0	●3	●1	×0	—

○勝、●敗、△引分、×罰點、

水球競技順位表

順位	試合数	勝	引分	敗	得點	得たるゴール	與へしゴール	ゴール比率
(1) 洪牙利	3	4	0	0	8	36	2	
(2) 獨 逸	4	2	1	1	5	23	13	5.65
(3) 米 國	4	2	1	1	5	20	12	6.00
4 日 本	3	1	0	3	2	5	38	
伯刺西	2	0	0	4	0	4	23(失格)	

水球競技の順位に關してはオリムピック競技の特別な規定があり、優勝チームには二點を與へ、引分の時は夫々に一點宛を與へて其の得點合計に依つて順位を定める事になつて居る。其の得點相等しき場合には、相等しきチームに就て得たるゴール數と與へたゴール數との百分比を見て(全試合に就て)決定し、若し其れも等しい時には改めて試合をする事になつて居るが、今回の獨逸、米國の間ではゴール比率だけで二、三位が決定した。

又中止させられた試合に於ては、失格した相手のチームに5對0點の數を與へて勝とする規定があるので、失格せしめられたブラジルと日本及ハンガリーとの試合には此れが加へられてあるから、此の點に就ては順位表を参照されたい。

男子水上競技成績表

	一等	二等	三等	四等	五等	六等	得點
競	100自	日	日	米	米	日	米
	400自	米	佛	日	日	日	濠
	1500自	日	日	米	濠	米	佛
泳	100背	日	日	日	米	獨	米
	200平	日	日	比	獨	比	日
	800リ	日	米	洪	加	英	亞
飛込	飛板	米	米	米	加	獨	日
	高飛	米	米	米	奥	墨	墨
	水球	洪	獨	米	日	—	—
1	日 本	5	4	2	2	2	70
2	米 國	3	3	5	2	1	63
3	獨 逸	0	1	0	1	2	12
4	洪 牙 利	1	0	1	0	0	10
5	佛 蘭 西	0	1	0	0	0	6
6	比 律 賓	0	0	1	0	1	6
7	加 奈 陀	0	0	0	2	0	6
8	濠 洲	0	0	0	1	0	4
9	奥 太 利	0	0	0	1	0	3

10	墨 國	0	0	0	0	1	1	3
11	英 國	0	0	0	0	1	0	2
12	亞然丁	0	0	0	0	0	1	1

女子水上競技成績表

競 泳	種 目	一等	二等	三等	四等	五等	六等	得 點
		米	和	米	米	濠	南	
泳	100自	米	和	米	米	濠	南	
	400自	米	米	南	英	佛	米	
	100背	米	濠	英	英	米	英	
	200平	濠	日	丁	英	米	米	
	400リ	米	和	英	加	日		
飛 込	飛 板	米	米	米	獨	加	澳	
	高 飛	米	米	米	瑞	丁	日	
	1 米 國	6	3	3	1	2	2	72
	2 英 國	0	0	2	3	0	1	18
	3 濠 洲	1	1	0	0	1	0	13
	4 和 蘭	0	2	0	0	0	0	10
	5 日 本	0	1	0	0	1	1	8
	6 丁 抹	0	0	1	0	1	0	6
	7 南 阿	0	0	1	0	0	1	5
	8 加 奈 陀	0	0	0	1	1	0	5
	9 獨 逸	0	0	0	1	0	0	3
	10 瑞 典	0	0	0	1	0	0	3
	11 佛 蘭 西	0	0	0	0	1	0	2
	12 澳 太 利	0	0	0	0	0	1	1

大陸對抗リレー競技

男子 800m リレー

決 勝 (八月十四日午後 9.10)

(1)	亞 細 亞 チ ー ム	宮 崎 康 二 (日)	9:01.4
		遊 佐 正 憲 (日)	
		豊 田 久 吉 (日)	
		大 横 田 勉 (日)	
(2)	米 大 陸 チ ー ム	ギ ル フ ラ (米)	9:09.0
		メ デ イ カ (米)	
		カ リ リ (弟) (米)	
		カ リ リ (兄) (米)	
(3)	歐 洲 チ ー ム	コ ス ト リ (伊)	9:36.7
		不 明 (洪)	
		バ ラ ニ ス (佛)	

女 子 400m リレー

決 勝

(1)	米 大 陸 チ ー ム	マ ツ キ ム (米)	4:42.2
		ジ ョ ー ンズ (米)	
		マ ツ キ ブ ン (米)	
		カ イ ト (米)	
(2)	亞 細 亞 チ ー ム	小 島 一 枝 (日)	5:07.8
		守 岡 初 子 (日)	
		松 澤 初 穂 (日)	
		荒 田 雪 江 (日)	

(34頁よりつゞく)

[オリンピック選手は語る]

【中 川】

僕は鶴田さん小池さん達と練習の時からどうも皆さんが速いので後の方で霞んで泳いでるやうなもので、自分では真面目に練習したつもりですが成績が好くなくつた。然しレースの時に組合せが僕に非常によかつたのでどうにかかうにか決勝に入ることが出来ました。準決勝において私はどうにか三着までには入れると思ひましたがスペインといふ人が初めからピッチを上げ、僕はターンする毎に見なかつたために遂に最後の五十米の時には三米ばかり離されてるましたが皆さんの御後援でどうにかかうにかタッチの差で勝つことが出来ました。僕は練習中に非常に調子が悪くてこれでは準決勝は愚か豫選で落ちてしまふであらうと思つて居ました。時々松澤さんに「どうしたらいいだらう」と聞いたことがありますが、松澤さんは「まあ氣を大きくもつて、あせらず練習したらいいだらう」といはれました。御蔭で六等に入つて喜んで居ります。



男子高飛込

上 Smith (米) の後踏切前一回半宙返り

下 左より Smith(I) Galitzen(II) Kurtz(III)

オリニピツク飛込競技

飛込コーチ 島崎 保正

競技場の有様

飛込競技の當日特に設けられる設備は選手の試合中に休んでゐる席と役員席それと七つの審判のボックスだけであつた。飛込臺の後方に天幕を張つて日覆を作りその蔭に澤山のベンチを備へて選手席としてあつて此處には原則として試合に出る選手と審判臺に入る徽章を持つた役員だけしか入れないやうになつてゐた。日本の飛込チームは男子飛板飛込を除いては常に唯一人しか出場しなかつたので常に朝早く出掛けて未だ準備の出来ない間に此の席に誰か付添の人が入り込むやうにした。飛込臺に向つて左側に役員席が設けられた。此處には三名の記録員が常に四通の記録を取つて居り、傍にマイクフォンがあつて之れから英獨佛三ヶ國語のアナウンが行はれた。飛込審判長は FINA 會長のドリニイ。通告員は名譽秘書のドナート。一つの飛込が行はれる毎に三ヶ國語でその名稱、高さ、難易率が通告される。飛んだ後審判が點數を擧げる迄には充分すぎる程の時間があつた。審判の點數は審判長が順次にフランス語で悠然と讀み上げる。すると計算は比較的迅速に行はれて得點が又三ヶ國語で行はれるのである。ドナートが得意の語學をしやべるのであるが私にはどうも聞き取り難いものであつた。此の手數の爲めに一つの飛込に要する時間は随分永いもので一飛込に一分二十秒位を要し男子飛板飛込の如きものは三時間十分には涉つて行はれた。

七名の審判員のボックスは何時も飛込臺に向つて左側に四名右側に三名配置された。此のボックスは三尺四方高さ六尺五寸位の木の枠にカンバスを張つたもので頗る簡單なものであつた。その一方の口のみが飛込臺の方に向いて左右は全く見ることが出来ない。但し前方にはプールの縁の溝があるので一切の人はそこを通る爲め前方を邪魔されることはなかつた。採點板は一尺二寸四方位の木の板に四尺位の長い柄を付けたもので頑固一方に出来て居り従つて片手で取扱ひ難い程重い。七名の審判員は此の箱の中に凡そ三時間程頑張つてゐなければならなかつたのである。オリニピツクの飛込審判員は元來國際飛

込競技委員會のメンバーが當る筈になつてゐるのである。所が今回は此のメンバーの中にロスアンジェルスに來ないものが多かつたので急に審判員のリストが作られた。此のリストには九名の人が掲げられ、此の中から競技に七名宛が審判に當つたのである。

男子飛板飛込

飛込競技四種目の中各國が最も力を注いでゐる此の種目には十三名の出場者があつた。各國の競技者の競技振りは他の機會に譲るとして今回は我國から出場した小林と生江の成績に就いて述べることにしよう。

小林 一男

走前蝦飛、少し身體が前に流れ過ぎて蝦形が非常に遠くなつた。然し水に入り方は立派なものでスペラッシュを上げない點で米國の選手にも優つて参加者第一の技巧を示した。

評點平均 8.9 得點 11.20

後一回宙返り(伸び切り型)確實な飛込であつたが外國の人々のやうに身體が浮き上つた感じがしない。

評點 7.4 得點 11.84 累計 33.04

前踏切後一回宙返り(抱へ型)之れは試合前に少崩れかゝつて來た。試合の時はよく身體が上つてゐた。宙返りが終るまで少し苦しさうに見えたが、入水美事にきまつて

評點 8.0 得點 14.40 累計 37.44

後踏切前一回宙返り(蝦型)身體はよく上つた。廻轉もよく行つたが此の爲め少し前に倒れ氣味に入つた。然し廻轉に移るまでに一寸ぎこちない所があつて米國の連中程の圓滑味がない。高く上つた爲めに倒れ氣味の點を補つて

評點 7.4 得點 11.48 累計 49.28

立前逆飛一回捻り、之れは最も苦手の飛込であつて往きの船の中からどの位苦心したか知れなかつた。試合には日本で飛んでゐると同じ氣持ちで飛んだのであつたがやはりうまく行かなかつた。後で考へて見ると餘り肩と首とに努力を拂ひ過ぎたのであ

る。空中で非常に苦しうに見えその上入水で身體が左に倒れた。

評點 5.4 得點 10.26 累計 59.54

走前踏切後逆飛半回捻り、此の飛込は輕妙な技には達してゐなかつたのではあるが確實に水に入り得るので 審判の虚をつく 豫定で選擇飛の第一に選んだ。此の策戦は美事に成功したと考へてゐる。飛込は極く僅か身體が前に流れたが 瞬間に半回捻りを行つて眞直に水に入つた。審判は後半の隙間のない出來榮えにひかれて全體として見た感じより遙かによい得點を出してゐた。

評點 7.6 得點 16.72 累計 76.26

走前二回半宙返り、此の飛込と次の走前踏切後二回宙返りの踏切は小林の踏切の中で最も悪いものであつて非常に苦心して直さうとしたのであつた。踏切に膝がうまく伸び切らないのである 試合に於ても此の飛込では踏切が思ふやうにならなくて身體が前方に流れてしまつた。此の爲めに廻轉が遅い。此の飛込で得た得點は水に入る所に與へられたと云つてよいであらう。

評點 7.4 得點 15.54 累計 61.80

走前踏切後二回宙返り。前の飛込には踏切で失敗したが之れは比較的上手に行つた。立前踏切後一回宙返の廻轉が苦しいと同様に此の飛込に於ても廻轉が滑かでない。然し高さが充分なとよく伸びて眞直に水に入つた爲め

評點 7.6 得點 15.96 累計 107.76

後二回宙返り、此の飛込はロスアンジェルスで練習中全く見違えるやうにつなて來た。高く飛び上つてカッと抱へ型に移つて行く調子を覺えて確實に一點五分程は餘計に點が出る程になつてゐた。所が試合では意外なものだ。確實に八點近い評點が取れると思つてゐたのが失敗した。高く上り抱へ型にも調子よくかゝつたのであるが抱へ型が少し緩かつた爲め後半がだらしなくなつて水に淺く入つた。後で記録を調べて見たら、此の飛込が普通に行つてゐれば充分四等になつたのである。

評點 6.4 得點 12.80 累計 120.56

後踏切前一回半宙返り (抱へ型) 此の飛込は小林の試合の時の得意のものである。高く上つてほど正しく水に入つた。たゞ廻轉の緩いことゝ伸びがほんやりしてゐる點で充分な點を取れなかつた

評點 6.6 得點 13.20 累計 133.76

結局總得點 133.76 で第六位となつた。當日の出來は全體として小林の實力のまゝである。最後の二つに豫定通り得點出來てゐたならばと思ふが、此處い

らが日本の飛込の歴史の短かい爲めなのではなからうか。とに角何故小林が最後に至つて思ふ程點が取れなかつたかと云ふことは今後の試合の爲めに充分研究しなければならないことゝ思ふ。

生江哲太郎

走前蝦飛、小林が一つの飛込後半の技で點をとつて行くに反し生江はその前半で點を決してゐる。此の飛込に於ては高さも型も立派なものであつた。然し水に入る時に例によつて胸を反らして肩を堅くしてしまつた惜しいことだ。

評點 8.2 得點 11.48

後一回宙返り (伸び切り型) 常に頭の働作が堅くなり過ぎてゐたにも拘らず試合には上手にいつた。型が美しい爲少し倒れ氣味の飛込にも充分な點が出たのです。

評點 8.0 得點 12.80 累計 4.28

立前踏切後一回宙返り (抱へ型) 非常に近く高く上つた。抱へるのを遅らせなければいけないと思つてゐる間もなく平常通りに抱へてしまつた。當然足を早し伸ばさなければならぬのだが板に近い爲め思ひ切つて伸せない。大分後に倒れた。それと身體の伸し方がはつきりしなかつた爲めに

評點 7.0 得點 12.60 累計 36.88

後踏切前一回宙返り (蝦型) 見事に一回宙返りで足から眞直に入つた。然し低いそして肩がコチコチに堅い。一廻轉して少しの餘裕もなく水に入る。

評點 6.8 得點 10.88 累計 47.76

立前逆飛一回捻り、之れも小林と同じであつた。飛び出してから急に腕を左に振る。それが肩に力が入らなければよいのであつたがフォームを崩すまいとして身體中に力を入れてゐるので内滑に捻れない。腰が反り過ぎたまゝ左に倒れて入水した

評點 5.6 得點 10.64 累計 58.40

走前一回半宙返り (蝦型) 此の選擇飛に二回半宙返りをやるやうに色々と頭を悩ましたが結局日本にゐる時のまゝにする。非常に高く上つたが僅か淺く入つて爲め、

評點 7.8 得點 14.04 累計 72.44

後踏切前一回半宙返り (抱へ型)

よく廻つて眞直に水に入つた。が残念なことには高く上つて軽く廻る所がない。

評點 6.0 得點 12.00 累計 84.40

走前踏切後逆飛 (伸び切り型) 實によく上り平常の缺點である頭の使ひ方もうまく行つて前半は殆ど満點であつた。惜いことに水に入る前、身體が反つてゐることと腕の使ひ方が悪くて少し水に廻り込ん

だ。後半がうまく行けば九點十點が出たであらう。

評點 8.6 得點 16.34 累計 100.78

後一回半宙返り(抱へ型) 生江は日本でも此の飛込を得意としなかつた。船の中の陸上練習機で相當練習して行つたがロスアンジェルスに着いてからもやはり思ふやうに行かない。飛び上つて抱へ型に移る迄は高さが足りないこと以外には一通りに行つた。然しその後例によつてバツと足を離してそのまま水にバサリと入つてしまつた。

評點 6.6 得點 9.98 累計 110.66

走前踏切後逆飛半回捻り

走前踏切後逆飛はうまく行つた。所が肩の力がうまく抜けない。その爲め捻れない。腕を妙に振つたと思つてゐる間にとに角水には眞直に入つて來た。

評點 6.6 得點 14.32 累計 125.18

總得點は 125.18、埃太利のシュタウディングーと大接戦の上第八位を得た。生江の出來は日本の豫選の時のやうに各飛込に平均して得點はしてゐない。然し選擇飛が相當によい成績であつたのと規定飛の第二で得點して全體としては思ひ通りの成績を得てゐた。歐州で相當、名のあるシュタウディングーを敗つたことは大手柄であつた。

女子飛板飛込

鎌倉悦子唯一人の出場である。随分苦しい練習をしたのであつたが、一人で戦つたので精神的に充分に活躍出來なかつた。

走前蝦飛

見てゐて非常に重く感ずる飛込であつた。蝦形を作るのが鈍い感じがする。然し水には美事に入つた。

評點 6.8 得點 9.52

後一回宙返り(伸び切り型) 此の飛込は非常に出來不出來が多かつたのであるが試合の時は落ち付いて美事に飛んだ。

評點 1.0 得點 11.20 累計 10.72

走前逆飛半回捻り。 練習中どうも之れは上手く行かなくなつて身體が斜めに倒れるやうになつた。日本の豫選の時のフォームが崩れ始めてゐて試合でも遂に失敗

評點 4.4 得點 7.44 累計 28.20

走前踏切後逆飛(伸び切り型) 身體の上り方は充分でなかつたが美事に水に入つた。飛板から斜めに飛び出したのに氣の付いた審判はなかつたやうだ。

評點 7.0 得點 13.30 累計 41.50

後踏切前逆飛半回捻り 捻る瞬間に足先の亂れる癖がどうしても直らない。その爲めに身體が斜に倒

れてしまつた。

評點 5.6 得點 10.64 累計 52.64

後逆飛、之れは確實に七點をとる豫定でゐたが、残念なことに上りが足りず身體を引き切れないで斜めに水に入つた。

評點 5.4 得點 8.64 累計 50.78

總得點第七位、決して充分な成績とは云ひ得ないがああ激しい練習の結果である。満足だ。

女子高飛込

之れにも鎌倉一人だ。せめてもう一人居たらばと練習の時から考へた。

走前逆飛 5米 最も確實と考へた飛込である。踏切も空中の姿勢もよかつたが僅かに倒れながら入つた。

評點 6.6 得點 7.26

立前逆飛 10米 前の飛込に遠慮したであらう。強い踏切が出來ない爲め、綺麗に身體を伸すことが出來ないで、腰を少し曲げ可減にして調子を調べてしまつた。

評點 6.2 得點 6.82 累計 14.08

走前逆飛 10米

此の飛込も樂には飛べなかつた。前逆飛では三つともとうとう平常の技倆を表はしそこなつて、之れも再び倒れ氣味の入水となつてしまつた。

評點 6.4 得點 7.68 累計 21.76

後踏切前逆飛(飛型) 5米 最後の飛込は立派に飛んだ。

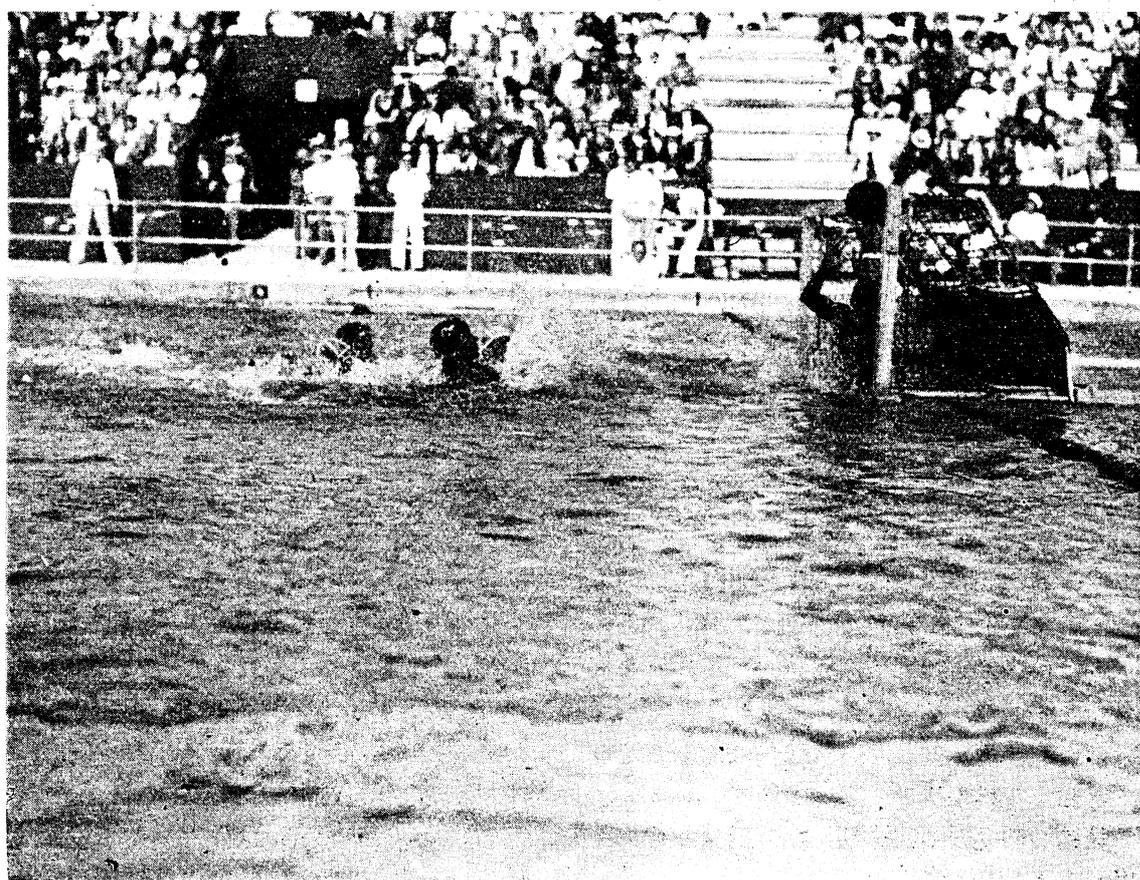
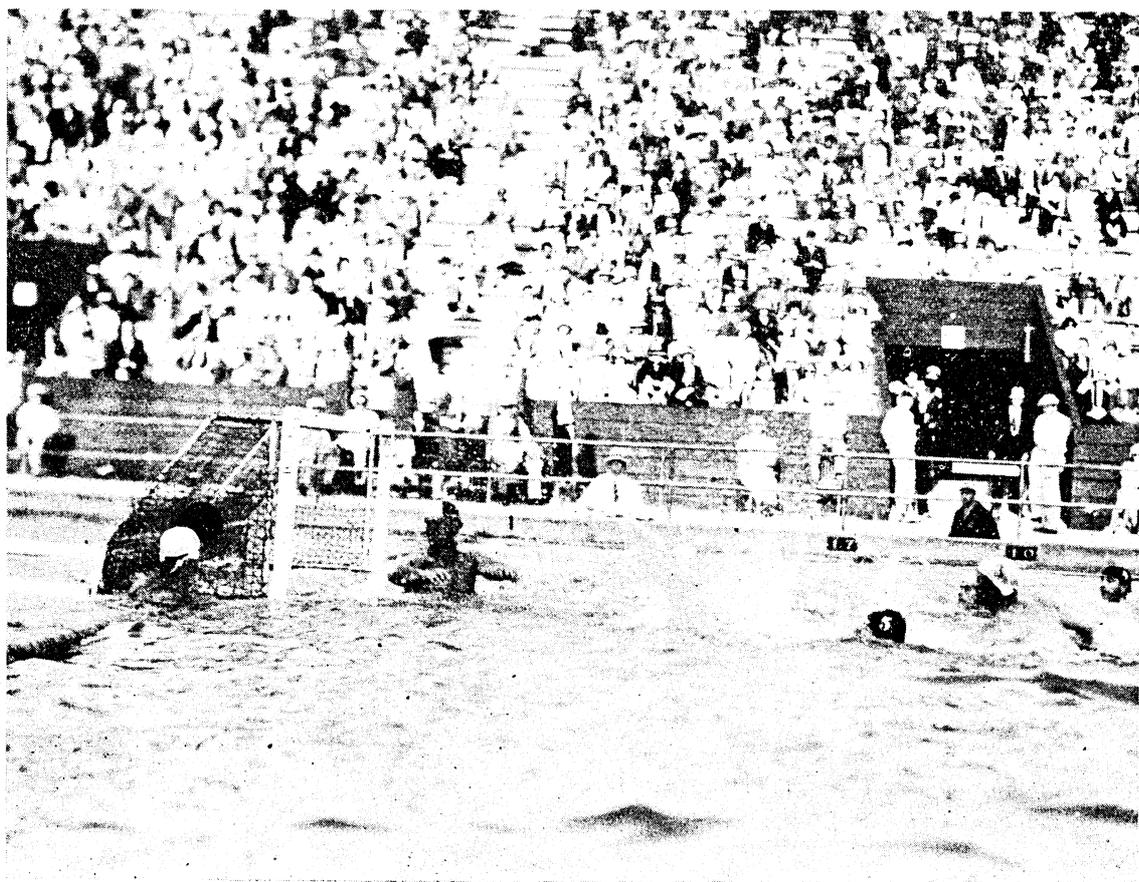
評點 8.0 得點 9.60 累計 31.46

女子高飛込で鎌倉は平常の技倆を發揮することが出來ずに終つてしまつた。せめてもう一人居たらばとつくづく考へた。

男子高飛込

此の競技は石田唯一人の出場であつた。その石田が耳を痛みて平常通り飛べなかつたのは遺憾である。かりに石田が普通の場合或は他の我國の高飛込選手が出場した場合を想像して見ると先づ最もよく行つて第五位位に入るのではなからうかと思ふ。第四位は歐洲選手權保持者シュタウディングーが得たが此の飛込にも未だ我國は及んでゐない。シュタウディングーは高飛込の美しさと云ふものを心得てゐるが我國のダイヴァーは未だその美しさを表現する方法を知らないやうに考へられる。

水球競技



上、ハンガリー(黒) 對 獨逸(白)
下、米 國(黒) 對 日本(白)

オ リ ン ピ ッ ク 水 球 競 技

水球監督 藤 田 明

日本水球界にとつての劃期的瞬間がすぎた。

聊かの自信と大きな危惧と壓へきれぬ興奮とを抱いて母國を發つたときの事を回想すれば萬感に迫る。我々は此の重大な局を擔當するものとして果して責務を果すに充分であつたか。勝敗の事を云われると一言もない。然し日本水球の將來を考へればこんな事は大した問題ではないのだ。今日世界制覇を完成した男子競泳も一度は踏み超したと同じ荆棘の途ではないか。諦めることも出来る。たゞ問題は今後にある。如何にして日本水球を世界的のレベルに引上げることが出来るか。我々一同の焦心は茲にある。我々は此の重大なる局面を負擔してゐることを限りなき光榮とし倍舊の勇を鼓して前途に進まん事を誓ふ。

水球に於ける理論と實際は何れ又稿を改めることもあらう。只茲では今回のオリムピックに於ける各ゲームの経過の目に見え心に映じた通りに記してみよう。

米國對ブラジル $6\left(\frac{2-0}{4-1}\right)1$

水上競技第一日八月六日午後四時十分開始。

前半は互ひに一進一退を續ける内 U.S.A 巧みに機會を掴んで連續二點を獲得し後半は益々好調にゲームを進めて四點を重ねたに對してブラジルは後半主將 Thebrae の強引のシュートで一點を報ひたのみで終る。U.S.A の I.F ダウベンスベックはアメリカ水球史開始以來の名選手と至寶視するだけあつてタックルされつゝも強引にシュートして四點を献じたのは偉とすべきである。併しゲームとしては兩チームとも甚だラフであり戦法も單純で學ぶべき點は少なかつたと思ふ。スピードと耐水力に勝れた U.S.A が少しづつ押して勝を制したと見るべきだらう。

ハンガリー對ドイツ $6\left(\frac{2-2}{4-0}\right)2$

續いて四時五十分事實上の決勝戦とも見るべき此の試合は全觀衆の血を湧き立たせつゝ開始さる。共に優秀なる體格と素晴らしいテクニク・タクテックを以て對し隨所に好連絡を見せて模範的試合を展

開したが三分頃洪はゴール前の F.T を C.F ベルテーシ R.F に渡し直ちにリターンパスを受けてゴールを割り第一點を得て均衡を破り續いてハーフタイム直前中央右寄りから H.B ハラシーのパスを I.F 一度受けてノーマークの R.F に渡し R.F ネメスは G.K ラデマツヘルのチャージを軽く受け流してスローボールを送り樂に點を重ねて勝を決定す。後半に入り洪のシュートは益々冴へて四點を連續得點し未だ嘗つて見ざりし大スコアで宿敵獨乙を屠ると見へたが獨乙は最後に奮起して二點を報ひた。即ち第一點は洪の R.B. Ivody の故意反則に依るペナルテースローをものにし、第二點は R.F ラデマヘル・ノーマークでゴールに迫り G.K とバーの間に胸のすく様な強球を放つて點を重ねたものだつた。此の日獨の G.K ラデマヘルは極めて不調で、前大會「獨乙のゴールには壁が張つてある」と迄讚嘆せしめた彼のプレーを示す事なく終つたのは惜しい。此れに反し洪の Brody は鐵壁の如き守備振りで味方の信頼を一身に引受けてゐた。兩軍共物凄くドリブル、感のいゝスタート、正確なパスで終始し我等は此處に始めて水球の醍醐味を十二分に満喫して、戦了にも暫し忘然なるものがあつた。洪は獨に比しバックウダーの果敢な突進多く此が屢々好機を生んでゲームをリードし遂に王座を確立したの感が深い。此の日のレフリー白耳義のデラヘー氏の審判振りはこの試合にふさわしい見事なもので教へられる所が少なかつた。

ハスガリー	ドイツ
Keser	L.F. Shulze
Vertesi	C.F. Shwartz
Nemeth	R.F. Rolemacher
Halassy	H.B. Benecke
Hononnoi	L.B. Gunst
Ivady	R.B. Cordes
Baody	G.K. Rademacher

米國對日本 $0\left(\frac{3-0}{7-0}\right)0$

八月七日四時五十分開始。

第一戦をかち得べく張り切つて對戦したがいさゝ

かの過勞の上一同上り氣味で慘敗を喫して終る。U.S.A のアンフェアな水中テクニクに前後衛共攻防拒まれて前半三、後半七を得られ大敗した前半の終り澤海ベナルテスローを得たが敵 G.K. よく防ぎ更に後半に入いつて七人對六人の優勢裡に戦ふ内 L.F. ダウベンスベックの強引に點を許し全く勝味なきゲームを演じて第一戦を落す この際の精神的打撃はタイムアップまで我々を災ひし其の後 U.S.A の故意反則に依る退水をも好轉し得ず、又竹林の好シュートも唯惜まれるに過ぎざるの不運な試合振りであつた。泳ぎ廻つてゲームをリードせねばならぬ我々が反對に敵方に泳がれた事を最も大きな敗因と見る事が出来よう。レフリーのデラヘー氏はよく反則を摘發してくれたが其にも拘らず故意的反則を重ねて敢行する U.S.A の態度は今だに不快の念を抱かせるに充分なものである。

V.S.A		日	本
Daubenspeck	L.F.	阪	上
Clapp	C.F.	竹	林
O' Connor	R.F.	澤	海
Mc' Allister	H.B.	時	任
Strong	L.B.	藤	田
Finn	R.B.	土	井
Wildman	G.K.	松	本

ドイツ對ブラジル 7(3-2)3

八月八日午後四時五時開始

ドイツはハンガリーに敗れた精神的衝撃が未だ癒えないのか不活潑なプレーを繰り返し自から苦戦を招いて居たのは解せぬ。其れに反しブラジルは非常にラフではあつたが遮二無二攻め入つて豫想以上の善戦を展開した。試合中ブラジルに反則多くレフリーのカムジャカ氏(ハンガリー)はファウルを宜して再三の退水を命じその都度ブラジルチームは不満を訴へてゐたが試合終了するや興奮せるメンバーはレフリーに喰つてかゝり遂には殴打するの醜態を演じた更に警官役員が介在して益々騒ぎを擴げ水上競技初つて以來の不祥事を展開する。オリンピックの神聖を信じてゐた我々は餘りの醜行爲に思わず目を掩わずに居られなかつた。正當な抗議で正邪を質す順序を踏まずに直ちに直接行動に走つたブラジルの行動は斷然排撃すべきであるが同時に審判方法がゲーム運用に如何に大なる影響を及ぼすかを思ふて深く考へさせられる所があつた。常に練習を共にして來た好敵ブラジルと矛を交へる機を逸したのを憾んで居るのは私一人ではあるまい。

ハンガリー對日本 18(10-0)0

續いて五時十分我々は世界の最強チームハンガリーと對戦した。ハンガリーのバックは、我々のバスのタイミングの悪いのを豫知してか盛んにインターセプトする策に出で物凄いだリヴル、完全なゴール前の散開と相まつて次から次へと好機を作つてゐた誠に見事なプレー振りである。多年の交戦による實に微妙なるコンビネーションは、我々のシフトプレータツル其の他總べての技術を無視して、悠然と運ばれて居たのには唯々敬服の外はない。

Hungary		日	本
Kezer	L.F.	阪	上
Verteri	C.F.	竹	林
Nemeth	R.F.	澤	海
Halassy	H.B.	時	任
Homonoi	L.B.	藤	田
Ivady	R.B.	土	井
Borta	G.K.	松	本

ドイツ對米國 4(3-2)4

八月九日午後四時十分開始。

獨乙は依然不調にあるらしく、夫に米は見るに耐へざる反則を平然と行ひ、獨の活躍を未然に防がんとするの醜策に出で我等ファンの公憤をそゝる事夥しい。此の日米は元氣一杯によく泳いでドイツのメンバーを疲らしめたに反し、獨のフォワードは極めて無氣力であり、やゝもすれば米バックワードのラフプレーに支配され勝ちであつたが、獨のバックメンは果敢なドリヴルとシュートで局面を打開し味方の進撃を誘致して居た。即ち第一點は L.B. コルデスがドリヴルで攻めた後、ゴール前中央のフリースローを受けて放つた故シュートに依るものであり R.B. ゲンストも此に劣らず前半一點を献じて居る。獨の他の二點が何れもベナルテゴールである事を思へばバックメンの奮闘は双手を舉げて賞讃するに足ろう、米の得點は四點の内三點まではダウベンスベックの強引なシュートの賜である。翌日の米紙が筆を揃へて彼を英雄視したのも無理はない。

この試合を通じて米の反則は枚擧に違ない程で寛大に過ぎた様に思われる當日のレフリー・デラヘー氏に依つてさへ、前後半各一回のベナルテを宜せられてゐる。又觀衆の訓練更になく盛んに鼻をならして判決の不當を主張する醜態は見るに耐へないのであつた。「米の競技者觀衆の無自覺は水球を冒瀆する」と云ふも敢て過言ではあるまい。

ハンガリー對米國 7⁽⁴⁻⁰⁾/₍₃₋₀₎0

八月十一日午後五時開始。

米のラフプレーがどこ迄ハンガリーを悩ますかに興味を持たれたがデラヘー氏の審笛は神の如く反則を摘出して不正の攻防を止めハンガリーは易々と米を破つて初めてオリンピックの王座に就いた。

ハンガリーは斷然強い。米の惡辣極まる反則を軽くあしらつて確實に地味に壓迫を重ね、殆んど試合を一方的にしたのには恐れ入らざるを得ない。ハンガリーチームの最古參者バルタ氏が一日ドイツを評して「獨は素晴らしいスピードとテクニクを持つてゐる。併し乍ら洪の如きタクテツクがない」と語つたが氏が暗に自負してゐる洪のタクテツクに接してこの言の嘘りでなかつた事を痛感した。二度ばかり見舞つた米の絶對的優勢を逆に攻勢に出て集團的攻撃法の威力を見せてくれた邊り今思ひ出しても胸のすく思ひがする。

ドイツ對日本 10⁽³⁻⁰⁾/₍₇₋₀₎0

八月十二日午後五時開始。

オリンピック水球の終局戦、一同心に奮闘を誓ひ且つ L.F. に木村を起用し玉碎主義を以てアムステルダムに當る。前半ドイツの調子とゞのはざると我がバツクメンの好連絡は松本の始めて本領を發揮した見事なセービングと相まつて三點で敵の猛襲を防ぐ。後半に入いつてからも大いに挽回に力めたが獨の C.F. シュワルツの旺んな活躍によりしばしば中央を割られて點を積まれた。

ドイツはハンガリーに比すべき立派な個人技術を持つてゐるがゴールシュートにいさゝか確實性が缺けてゐるのとハンガリー程バツクの前進のない所に缺陷が存在する様に思はれる。併しドイツのプレーは他の國々に比べ最もフェアであり此の點は日本と共に誇るに足らう。

ド イ ツ		日 本	
Pohl	L.F.	阪	上
Shwartz	C.F.	竹	林
Rademacher	R.F.	木	村
Bene ke	H.B.	時	任
Gunst	L.B.	藤	田
Corder	R.B.	土	井
Rademacher	G.K.	松	本

三回のゲームを通じ一回毎に外人との試合になれて來た事を覺える。この事は我々に少なからぬ自信を今後行くべき道とを示してくれた。現在我々は實

戦の體驗によつて積まれる判斷力と之を扶ける技術に劣つてゐる事を痛感せずには居られない。日本はどこ國々よりも極めてゲーム(特に國際試合)の數が少ない點に絶對的不利を持つてゐる。此の悩みを解決する唯一の鍵として私は水球を普及する事を心から主張し、且つ努力する事を誓ふ者である。

オリンピックプールの長さ

「800 リレーは9分を切るし北村牧野の1500・誰も彼もオリンピックでは馬鹿にタイムが良かったが少しプールが短かゝつたんじゃないか?」といふ人達が、神經衰弱にならない中に、と眞實の長さを調べた結果：—

オリンピックプール西側水面長サ 50m 丁度

同 東側水面長サ 3/8時不足

之は去る7月25日午前8時水温25°C. 天氣霧の時300呎のサーベイヤー・チェーンを用ひて計測したので測定者、加州公認技師シャーレイ君は、日光の強い日には恐らく右の長さは約1/8時程膨脹するだらうと云つてゐます。

因に此の程度の短さならば、N. S. R. の公認規定にもどうやら合格です。

オリンピック競技の時計

「プール」の長さと同じ様な話 先づ最初の男子百米自由形の時からしていきなり五八秒なんてタイムが出るので、時計か計時員が變なのぢやないかと疑つた。後に至つては八百米リレーの八分臺も信ぜられなかつた。けれどもタイマーは確實だつた様だし、時計も話を聞くとかうである。

オリンピック用のストップウオッチ三十個はスイスで作られて、直接に英國のグリニツチ天文臺に送られ、六十日間専門の時計學者の検査を経た後に國際陸上競技聯監に返され、それをやつとロスアンゼルスに運んだものであるさうな。そして競技の朝に各競技場に特別に設計された容器に入れて運び、夜は集めて金庫の中に藏つておくと云ふ。

プールでも計時員は時計と引換へに署名した受取りを渡すので、日本の田中慶雄君(計時員であつた)も面喰つたとの事、恐ろしく大型の時計で押し難いくらひであつたと云ふ。米國流に此を申せば一個百何十弗とか。



800メートル、リレーのスタートと日本チーム

コース 1 英國 2 米 國 3 伯 刺 亞 4 日 本 5 洪 牙 利 6 加 奈 陀 7 亞 然 丁

オリムピック選手は語る

水泳日本の面目を遺憾なく發揮して、水泳選手諸君は堂々凱旋した。水上聯盟では僅か一夜を東京に明かし旅装をとく暇もない役員、選手を煩はし九月九日 YMCA に於て座談會を催した。競泳、飛込、水球の各部に涉り、デリケートな策戦、試合に臨む態度等生々しい體驗談を聞くことが出来た。

座談會は各部に涉つてその内容甚だ廣く、限られた紙面には到底載せることが出来ないのので、こゝに男子の競泳の分丈け掲載することとする。

【末 弘】

それではいよいよ男子競泳——百米から出場選手に話を願ひます。宮崎君は居ないから河石君から

【河 石】

私は試合前に組み合せが發表された時に、組み合せが悪いから苦戦するだらうと——これはどなたも想像して居られたことと思ひます。私はそれよりもチームの中で一番初めに泳ぐといふ事がとても精神的に大きな影響を興へまして、二三日前はとても上がった氣持でした。試合になつて第一豫選のスタートに立つてみるととても落ちついてよい氣持でしたが、やりそこなつて三等になりました。はつきり三番といふことが初めからわかつてるととてもがっかりしたらうと思ひますが、——初め二着と發表されたものですからそれで喜んだので——今度は頑張らうと思つてゐるうちに三着と發表されたものですからはつとしたのです。しかしベストサードに入ることが出来て又喜びました。準決勝の時も試合のことなんか考へずに、思ふやうに泳ぎさへすればよいと思つて作戦も何も考へずに居りました。それが却つてよかつたとみへて決勝に残る事が出来ました。決勝の時も宮崎君が一着をとつてくれることはつきりわかつて居りましたから割に平氣だつた。鶴さん（松澤コーチの事）が僕に言つてくれたのです。「明日は今日よりもつとへばるつもりで泳ぎさへすればよい」それで、僕もそのつもりで、今度は外國選手に初めから遅れないぞと思つて、隣が丁度トムソン（米國）だからあれの肩へついて行けば他の選手に負けることはないと思つてトムソンにガツチリついて行きました。シュワーツ（米國）は全然見ずに泳ぎましたがターンしてみるとシュワーツが頭一つ位出てるだらうと思ひます。それからトムソンの方へ氣をつけないでシュワーツに氣をつけて泳いで、ラストに來た時にどうしても抜けないものだからこれはもう負けたと思つたが、

【宮崎君は歸航中に風を引いて、八日横濱上陸と共に】
【單獨東京に歸り靜養中であつた。】

三メートル位になつた時に向ふをちよつと後にみるやうな氣がしたものですから勝つたかも知らうと思つて突込んだのですが、發表の結果二等になつて居りまして、全く私はさういふ事になるとは初めから考へて居りませんでした。要するに今度の試合は宮崎君が上に坐つてゐてくれた事と、何も考へないで樂な氣持でやつたといふことがあんな結果になつたのだと思ひます。それで試合一週間前位は調子が悪くて、タイムを二回とつてみな六十一秒かゝつたのでその時はがっかりしました。それから監督さんが二三日全然水へ入れてくれないので、休んでゐるうちに何だか身體がむず痒いやうで泳ぎたくて仕方がない。早く水へ入りたい、タイムをとつてみたいといふ氣持で一ぱいだつたのですが、あれは矢張りコンディションがよかつた證據ぢやないかと思ひます。

【飯 田】

河石の三等に就いて安部さんから話を聞きたい。

安 部

ずつと競技の決勝審判をやつて居りまして、河石君は日本選手として第一の出場ではあるし眼の皿のやうにしてみてるた。百メートル第一豫選第二組で——それで着順は——本當の着順はシュワーツ一着、スペンスが二着、河石が三着なのですが、發表したのをみるとスペンス一着、河石二着、シュワーツが三着になつてゐるのです。丁度國際水上聯盟のドナート（洪牙利）がレフェリーをやつて居る時で、あんまり無茶なものですから抗議したのです。あん畜生出鱈目しやがるといふので捻じ込んで行くと、君はどう思ふといふので、その時は三着を見ることを頼まれて居つたのですが、俺が見たのでは河石が三着シュワーツが一着だつたと抗議したのですが、河石は三着でもベスト・サ

ードに入ることは組み合わせからいつて明かにわかつてるたのですから。その結果非常にフェアだフェアだと神様みたいに有難がられたのです。オリンピックの記録には今でもスペインが一着、河石が二着、シュワーツが三着になつてゐる。着順の間違ひは他のジャツヂが認めるなら仕方がないので、シュワーツのタイムをスペインにやつて一着、スペインのタイムをシュワーツにやつて二着になつて居ります。——それで宣告と餘り違ふので、審判といふものはかうやつてやるものだと抗議的の説明を加へて、日本が執行委員の一人ですからこの決定に對して忠告を與へたのですが、審判の結果は抗議によつて變更出来ないといふのでそのままにしたのです。審判にはいろいろ出鱈目があつたやうです。

【高橋】

僕は初めから勝つ豫算で、三着までには入れるつもりでゐたのですし、丁度河石君と戦つて一回負け越してゐるからどうしても勝たうと思つてやつたのですが、これで丁度二度負け越したわけです。行つた當時は丁度河石君がコンディションが悪くて、決勝まで残ればよいと思つてゐたのですが、ところが僕の方が危くなつて、隣にゐたトムソンと一番隅にゐたシュワーツと間違つてしまつて、隣にゐたトムソンをシュワーツだとばかり思つて、それを迫つたのですが二三日たつてみればトムソンだと思つたのかシュワーツで、シュワーツだと思つたのはトムソンでした。それであわてゝやつたのですが結局駄目でした。あまり河石君が早いので、僕はいくらあがらうと思つてもちつともあがらなかつた。そして五着になつてしまひました。

【田畑】

バラニーが準決勝でおつこちましてから三等に入つたといふことを活動寫真か何かにして抗議したといふ事があつたがそれは採用されなかつた。も一つ感じた事は百は豫選、準決勝とみて宮崎は一等と思つたが、二等はうまく行けば河石が入るが高橋は六等と想像してゐたが、結果は宮崎、河石、それに高橋が五着に入つたからこれは成功だと思つたところ、松澤が豫算が違つたといふので、一二三等のつもりだつたのかといふと、一、三、五のつもりが一、二、五となつたと言つた。一三五に行けばまあ成功と思つてゐたのです。

【末弘】

高石君百をこの前のと比較して、

【高石】

とに角八年前のオリンピックの時はワイスミュラーが一番油の乗つた時で、ワイスミュラーに追従する選手がカハナモの以外になかつたし、またアメリカの三人が他の選手に較べてすばらしく強かつたので、アメリカの三人は樂な氣持で泳いだことゝ思つて居ります。その次のオリンピックは相當強い選手が出て來ましたが、アメリカでもコヂヤックとかローファーなどが機會ある毎にワイスミュラーをひねつてやらうと、むしろアメリカの中で競争してゐるやうな次第で、その結果百メートルの試合は恐らく一番緊張した試合だつたらうと思ひます。しかし全體のレベルがレコードの上からみて非常に悪かつた。ところがこの度のオリンピックはそれ以上の大接戦が演ぜられました。だから前の例をひいて論ずれば案外レコードが悪いのぢやないかと思ひました。さつき田畑さんからバラニーの批評がありましたが、私自身からみるとバラニーの方がアメリカ選手よりよくはないかと思ひます。バラニーの練習中は見ましたが本當のフルスピードで泳いでゐるのは見なかつたのですから、試合の前は唯それまでの批評を基にして想像するに過ぎないので豫想を許されなかつたのですが、矢張り強敵はバラニーではないかと思ひます。しかし日本の選手が案外にのびのびとした試合をしまして、その結果よその國の選手も引ずり込まれてそれで却つてレベルが非常に高くなりまして、決勝の結果をみても三等までが五十九秒を切つて居るなんていふことは今まで一度もなかつた事で、宮崎君の優勝は豫選、準決勝と經るに従つて、日本人ばかりでなく見てゐた人達全部が宮崎君が優勝するものと思つてゐたのでせうが、私達が特によろこんだのは河石君が五十八秒六といふすばらしい成績で二等に入つた事です。

【末弘】

まだ伺ひたい事がいろいろありますが八百リレーに移ります。あの四人をいよいよ出すことにきまる迄の監督方面の苦心談があるぢやないかと思ひますが、あれば話してくれませんか。こつちは聞きたい。

【松澤】

リレーのメンバーは大體こちらから豫定して行つたのと少し變つて來たのです。いよいよ申込みの間際になつてから遊佐君、豊田君が非常に延びて來た。それでますますリレーに對する確信を固めた。私としてはこの遊佐君、豊田君の他に宮

崎も考慮に入れて居りますし、宮崎、大横田、横山の外に遊佐君、豊田君の中一人でやつて行かうといふ肚で居つたのです。ところが大横田が例の病氣のためとても二つのレースに出す事が出来なくなつたので、それでどうしてもメンバーを變へなくちやならなくなつて、それでいよいよ最後になつて宮崎、遊佐、豊田、横山とした。四百に少し危険を感じて居るのに何故横山を使つたかといふ問題ですが、その前の米國チームの豫選會のタイムが九分八秒六、七位なのです。それに對して日本の方は少し安全率をみてやつてみるとどうしても九分六秒はいくら位のタイムしか出て来ないので、その差がどうしても二秒か三秒で、この二秒か三秒がどう變つて来るかレースになつてみないとわからないので、それでレースの最後はどうしても頑張らなければならぬので横山を八百リレーの方へ使つてしまはうと思つた。それでレースに泳いだやうなメンバーをきめて発表したのですが、田畑君などすい分心配して大丈夫かといふので僕も勝てばよいだろうと言つてゐたら豫想よりも少し早過ぎてしまつた。變り方からいへばそれだけですが、それだけ、勝つたまではだい分辛かつたです。

【末 弘】

リレーのエントリーのことでしきりに何か電報が來てゐたがそれはどうなつたのかね。

【田 畑】

結局あれはエントリーを二通り出して置いたのがみんなプログラムに載つてしまつて日本のメンバーが一番多くなつた。

【末 弘】

それを泳いだ方に順次、宮崎君がゐないから、遊佐君、豊田君、それから横山君の順序で……。

【遊 佐】

大體僕の豫算は、横山君、宮崎君、豊田君が居るから初めから少し勝つて來れば、僕で負けさへしなければ勝つだらうといふので、兎に角負けたらいかんと思つて頑張りました。ところが宮崎君が十メートル以上も抜いて來てくれたので氣樂に泳いだから割合にへばらずに泳けました。

【末 弘】

相手は誰ですか。

【遊 佐】

フィスラーです。

【末 弘】

どの位差があつたかね。

【松 澤】

十メートル以上——十二メートル位差があつたのですかね。

【田 畑】

大きなレースに初めて泳いで、浮くか浮くかと思つてゐるうちに泳いぢやつたですね。

【松 澤】

二百メートルで、宮崎、豊田、みんな二秒位早かつたのです。

【豊 田】

僕は宮崎君と遊佐君がうんと抜いて來たので、これぢや少しはへばつても抜かれやしないと思つて氣樂に泳いたので、まぐれ當りのタイムで次へ護つたやうなわけです。

【横 山】

八百リレーへ出る前松澤監督なんかに今日の八百リレーは恐らく非常に接戦して苦しいレースだ。それだから恐らく勝つてもタッチ位で勝つ位だろうとおどかさされて出ましたが、宮崎、遊佐、豊田の三人が頑張つて三十メートル近くあけてくれましたから、二分二十秒で泳いでも勝てると思ひましてのんびり泳ぐことが出来まして、非常に徳な役割を演じたわけです。

【田 畑】

接戦をやると思つたが、あれ程開いた。アメリカの敗因といふやうなことを高石君。

【高 石】

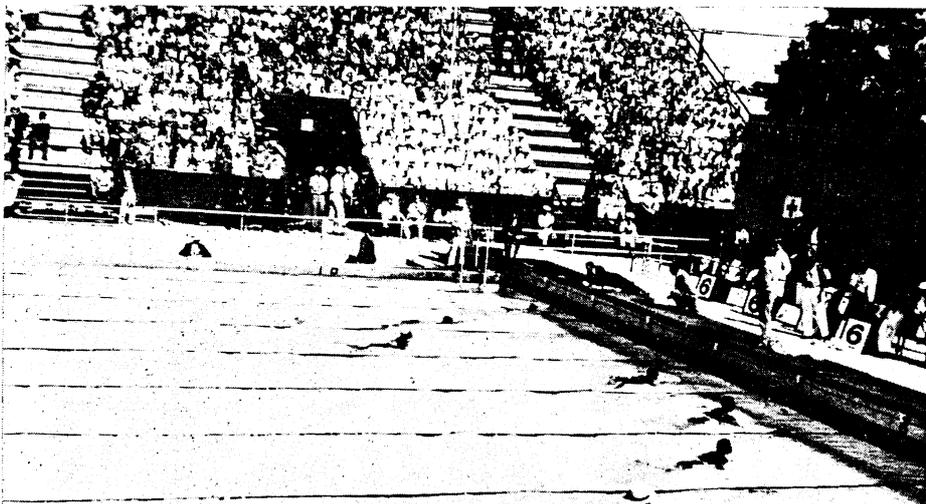
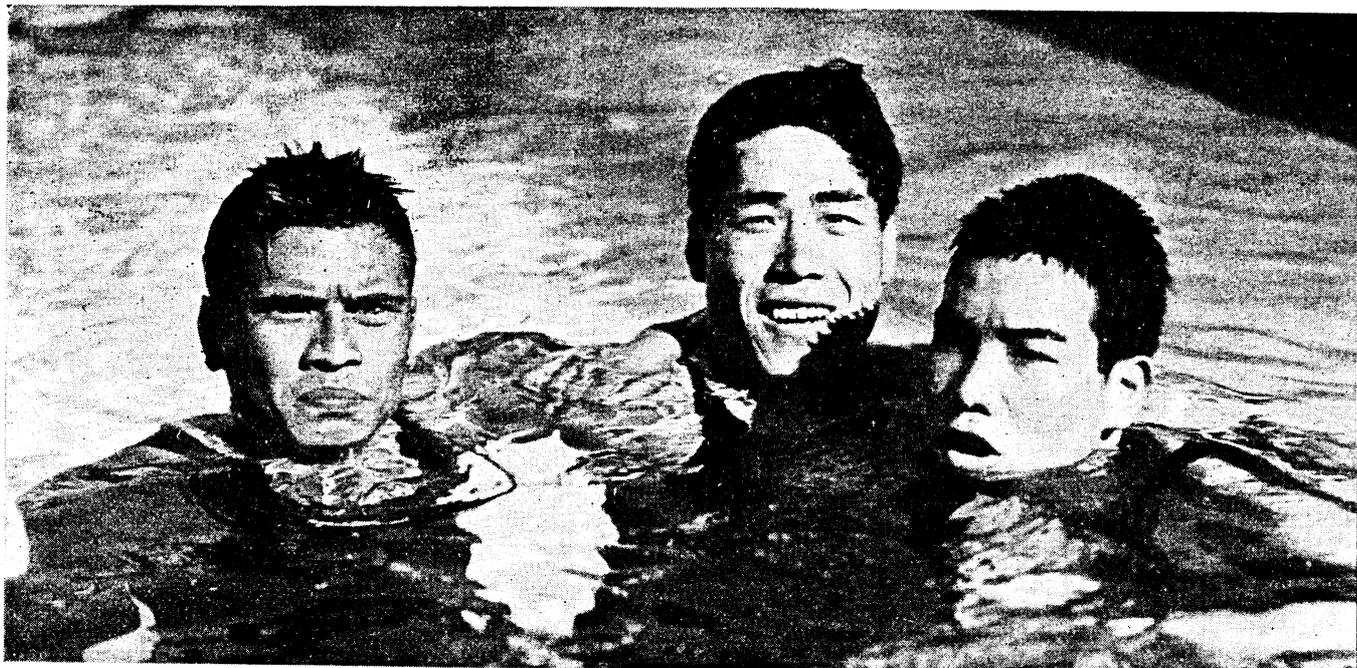
アメリカが敗けたといふよりも日本が強かつたといふ方が僕は適切だらうと思ふ。アメリカのレコードも決して悪いレコードぢやないと私は思ひます。とに角アメリカ人自身でさへ八百リレーには完全に兜を脱いだやうです。あの向ふいきの強いクラブの監督のスエンゼンが濟んだあとで私の手を握つて、もしアメリカに三人のツイスマユラーと一人のコチャツクが居てもまだ日本のチームが勝つだらうと言つたが、全く私がさき申したやうにアメリカが負けたのでなくて日本が非常に強かつたのだらうと思ひます。

【安 部】

アメリカのリレーのオーダーについて、何か——強いのを先に出した方が……。

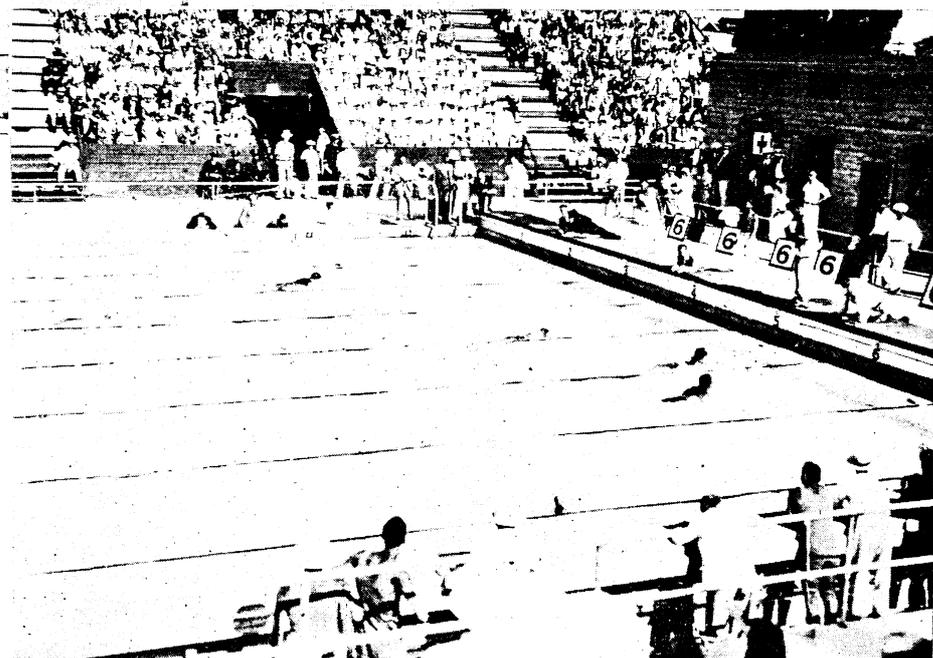
【田 畑】

僕はかう思ひますね。あの場合カリリか何か強い順に出してもアメリカのタイムはそう違はないと思ふ。然し宮崎と二人同じに入つたらあとの豊田と遊佐が非常にあがる形勢があつて日本のチーム



200 米平泳決勝
 上、右より小池(II)鶴田(I)
 イルデフオンゾ(III)

下、ゴール直前 →



中、100 米

コース

着順

- | | | |
|---|------------|---|
| 1 | ジータス(獨) | 4 |
| 2 | アジャルデン(比) | 5 |
| 3 | 中川(日) | 6 |
| 4 | イルデフオンゾ(比) | 3 |
| 5 | 鶴田(日) | 1 |
| 6 | 小池(日) | 2 |

が危いゲームをしたのではないかと思ふ。若いあの連中が力を出しきつたのであれ程大きく開いたのぢやないかと思ひます。

【高石】

アメリカがあんなに負けたのはアメリカの人の選の仕方が非常に悪かつたと思ふ。も少し他に強い選手が居たのですがね。

【安部】

ところがアメリカの豫選の結果、豫選がレースに近いといふ関係もあるのでせうが、ヘッドコーチのキップアースに豫選にパスした種目以外に動かすといふことは殆んど許されてるなかつた。二百で入つたものしかリレーに使へなかつたらしい。

【末弘】

してみると日本の今度のやうに早くから計畫して、誰を何に使ふといふことは全然ヘッドコーチの権限にあるのと、それが無いのでは非常に違ふんだね。八百リレーはそれ位で四百——初めにお腹を悪くした話を聞きたいな。君等の閉口した話を。どんな状況でしたか。

【田畑】

あとで僕は聞いた話です。知らなかつたので……。大横田君一つ話ちや……。

【大横田】

豫選、準決勝からみてどうしても僕は横山君が四百の覇権を握るだらうと思つてゐた。タリスがやけにぶつとばして横山君が面喰つたものだから、横山君に非常に氣の毒だと思つた。横山君がクラブと並んだら横山君が優勝するだらうと思つたのだが、丁度悪いことには僕とクラブとが並んで、横山君とタリスが並んで横山君はずい分面喰つたらうと思ふのです。日本にはまだあゝいふ烏鷲みたいな選手は——長距離には居ないことはないのですが中距離には居ないものですから面喰つたし、横山君はその前に八百リレーで疲れてゐたので、その覇権を握る事が出来なかつたものだらうと思ひます。

【田畑】

病氣のことを非常に聞きたがるのだが真相を一つ話して下さい。

【野村】

初めから腹を悪くしたのではなくて、一番初めは風邪をひいたのです。それは松澤君のスケジュールで、レースが長い間に百とか八百リレーとか四百とかに分れてゐるものですから、その順序で全然休みの日を違へて作つて居つたのです。それで

四百の休みの時に——ブレストか何かの方も休みで、ヴィレジの部屋の前で將棋だか碁だかを鶴田と二人でやつてゐた。午から風が出るものですからその時に風に吹かれ過ぎたのがもとで風邪をひいたので、風邪をひいたといふので早速齋藤ドクターに相談して熱さましをのましたのです。レースも近いのでまた深山君にたのんでそのあくる日みて貰つたところ大した事はない。オーバーワークだから休めばよい。熱の方も大したことはないといふので、も一日休めと言つたが、たしかその次の日のお晝からの練習に出た。それで結果はあまりよくなってその次の朝、朝御飯をたべたらもどしたといふので、武村清君かがどうも齋藤ドクターのくれた薬が悪くてもどしたいいふので、たゞ薬をもどしたのだと簡単に考へたがあの時腹を悪くしてゐたといふことをあとで聞いたので——その時下痢をしてゐたのです。それをこつちの耳に入れなかつたものですからその時は薬關係位の程度で大したことはないのだらうと軽く考へてゐたのです。それで腹をこわしたといふ事を発見するのが一日遅れたわけで、そのため大横田君をあゝいふ苦しい立場に置いたので、その責任を考へても慚愧に耐へないのです。その日の練習を終つて歸つてみると今朝から下痢をしてゐるといふので、それは大變だと齋藤ドクターを捜したが見えない。郷君にたのんでみて貰ふとそれは昨日の朝からだといふので、もう一日早ければ何とかなつたらうが。しかし困る。困るといつても仕様がなから何とかつとめて力をつけるやうにしてくれといふので、郷君にたのんで薬をもらつて——黒い薬で、吸収するやうな下痢をとめる薬で——それでよい鹽梅に下痢の方がどうやらよくなつたので、今度は今までゆるい重湯だつたのをお粥位にして、それを食べて初めのレースに行つたのでその時は大したことはなかつたが、準決勝、決勝と行くまでにはそれだけのレースを泳がせるには大横田の身體はまだ榮養分をとつてゐない。なんとかしなくちやならんといふので深山君を引ぱつて来て、晩飯を食つてゐるのに牛乳をのましてみたり、オリザンを飲ましてみたり、葡萄糖をのましたり出来るだけの事をした。當人は何が何だかわからないのですが、——當人には話さないでやつたので、明日の朝になれば少し固いものが食べられるだらうと、我々としては一生懸命何とかして力をつけて明日のレースに出さうといふのでずい分無理をやつたのですが——それで力がつい

たのでせう。非常にうまく行つてどうにか決勝に残れたのですが、あの身體では矢張り準決勝で残るために身體を使ひ切るまでに行つたので、あゝいふ結果になつたのです。

【末 弘】

それぢや横山君、

【横 山】

大横田君の病氣については一つ考へてゐることがあります。水泳が始まる一週間前が出る選手だけの最後のタイムデーをやりました。その時相當みんなへばつて居りましたが、大横田も大部へばつて居つたやうです。それでもむきになつて頑張つて、何でも四分四十九秒位で、恐らく大横田君もそれを出して自信をつけたでせうけれどもそれで餘程疲れて居つたのです。無理して焦つたのが却つて身體をこわした第一原因ではなかつたかと思ひます。四百のレースは大横田君が病氣しまして、僕一人で非常に心細く思つて居りました。しかし準決勝でタリスに勝つことが出来てこれぢやもしかしたら決勝には何とかかなりはせぬかと思ひましたが、決勝の日になつてみると身體が疲れてゐるのが自分でわかつて、決勝でスタートして飛込んだ時どうも勝てんといふやうな感じがして、それであの通り最後までちつとも出ずにそのまゝ美事負けました。

【杉 本】

僕はエントリーの時監督さんの御同情によりまして四百に出ることが出来ました。自信もありませんでしたが組み合わせがよかつたので漸く決勝に出ることが出来ました。それで病氣だつた大横田君にはけまされて大分元氣が出て來たので、大横田君と横山君が一二等をとつてくれるとして、自分はとも角チャールトン(濠洲)に負けてはいかん。問題はチャールトンだと思ひました。スタートして初めからチャールトンが出るので、これは豫選におけるクラブと同じやうにまた軽くひねられるかもわからんと思つて、ついて行けるところまでついて行かうと、夢中になつて着いたところが五等になつてゐたのです。

【末 弘】

時間がありませんから……その次は千五百米にうつりませう。

【北 村】

試合の前になつて他の競技が始つて、僕はオリンピックプールで思ふやうに練習が出来なくなつて中學校に泳ぎに行きました。ところがそこで泳い

で見ると、どうも調子が出ない。他の試合がすんだあとでオリンピックプールで泳いでみてもどうも調子が——悪いことはありませんけれども良い調子でもありませんでした。豫選、準決勝の時もどうも調子はよくありませんでした。その前に僕は牧野君と一緒に泳いで駄目だつたのでこれは負けたと思つた。それに僕は勝つ勝つと言はれて勝つたことがありませんので、これは注意せんといかんと思つて、卑怯なやうですけれども負ける負けるといつて——口で負けるといつても心の中ではうまいこと勝つたらよいがなあと思つて居つたのです。決勝の日のコンディションはふだん通りですが初めの迂り出しがよく、ずんずんとうよく行きました。丁度よかつた事は端の方のコースで、およそ千メートルまで行つた時に牧野君と並んで泳んで居りましたから、これは勝つてゐるなと思ひました。どうやら勝つて大變嬉ぶございました。

【牧 野】

日本を出發する前に既に千五百米には多分日本が勝つだらうと豫想されておまして僕達の責任は非常に重かつたのです。ロサンゼルスに着いてみると濠洲のチャールトンがこの前のオリンピックの時よりも形が良くなつてゐて今度は多分優勝するだらうと噂されてゐまして彼自身も又きつと勝つだらうと自信してゐると、とびとびに聞きました。僕達は日本を出る時どうしても勝たなければならぬと思つて來ただけに一寸あせり氣味でありました。然し豫選で北村君は午前中タリスとクラブを軽くひねつて一番をとりましたのでこれは多分決勝には日本は一二等をとるだらうと思つた時俄然嬉しかつたです。(笑聲)準決勝に一等をとり愈々決勝になると今度はあがつたやうな氣持、こわいやうな氣持でした。控室で北村君と一緒に休みながら「今日は僕が負けて君が勝つ」そんなことばかり云つてました。レースの前スタート臺に立つともうたゞ夢中に泳げばいいと思つてスタートの合圖の鳴るのを待つてゐたです。合圖が鳴ると僕達は一齊に飛び込みました。僕は一コースのライアン(濠洲)といふ選手が非常に速かつたのでそれにつられて泳ぎました。ライアンが七八百頃までつい(來たのでこれはとても駄目だと思つて一生懸命泳いだです。さうすると段々離れて來た。外國の選手は多分初めだけであとは駄目だらうと僕達は自信をつけてゐたから、あとは樂に泳ぐことが出来ました。その結果北村君が米國のクラブ

佛のタリス、濠洲のライアス等を抑へて勝つたので嬉しうございました。

【田 畑】

牧野、ほんとうは北村に勝つと思つたらう。

【牧 野】

イヤ判らなかつたです(笑聲)

【末 弘】

ぢや石原田君、

【石原田】

私の特に感じたことは練習をなまけてはいけないといふことです。

【田 畑】

忘れちやいかんぜ。

【末 弘】

次にバツクをやつて下さい。

【清 川】

向ふへ着いてから十日間ほど練習しまして、どうしても調子が出ないので自分でも非常にあせりまして日本に居つた時よりも千米ばかり毎日餘計に泳いだ。松澤さんにも「日があるからあせるな、あせるな。」といはれたがレースのことを考へると泳ぎたくて、みんなあがつても自分は泳いだです。二週間ばかりしたら段々調子が出て来てタイムもよくなつて試合にのぞむ前には相當自信も出來たのです。それで試合に出まして、豫選、準決勝と段々自信もついて來ました。殊に決勝戦ではドイツのキュツバースがフライングした時に僕達は一人もフライングしませんでしたのでこれで益々自信が出來ました。キュツバースは自分自身餘計あがつたらうと思ひますけれども、それだけ日本選手は餘計落付いたらうと思ひます。それが日本選手が揃つて一二三等をとつた原因だらうと思ひます。今度バツクが四人行きまして、その内三人しか出場出來ないし、みんなせつてるますから、ひよつとすると出られなくなるといふので、表面は力を協せてやりましたけれども心の中では負かしてやらう負かしてやらうと思つてるまして、それとなく意地になつて自然練習に力がはいりました。そのためにあゝいふよい結果が得られたんだらうと思ひます。

【入 江】

僕は初めの間とても調子がよくなかつたので心配しました。フォームなんか調子のよい時とは随分變つたやうに思ひます。それで色々考へました結果、前回のアムステルダムの際に高石さんが考へすぎて失敗したやうに餘り考へすぎではいけない

と思つて餘り考へずにやりました。試合の前になつて調子が出て來まして豫選は昔馴染のカナダの選手とかフランスの選手とか一緒に仰つくり泳ぐことが出來ました。準決勝で松澤さんから「ゼーア(米國)の實力をみせるやうな泳ぎをしてくれ」と云はれました。スタートで一才抜いてゐたのでこれは又あせつてはいけないと思つて五十米まで一緒に行つたところターニングが非常によかつたので又少し出ましたからゼーアの出るのを待つてゐたんですが、なかなか出て來ないので仕方がないから先へ行つてしまひました。(突聲)決勝の日は、僕は豫選、準決勝とも割合に樂な試合をしてゐますから、皆よりコンディションは良い方なんで、だから少々初めに無理をしても他の連中より身體のコンディションがよいからラストでは相當へばつてもみんなへばるのは判つてゐるから、こたえないだらうと思つたから初めからぐんぐん飛ばしました。やはり八十米邊からは動かなくなつてその中知らない間にゴールへ入りました。それだけです。

【河 津】

今度のオリンピックにおいては特に組合せが豫選からたいへん幸運で、それに松澤監督が清川君や入江君なんかと話して僕を樂にするために作戦して下さつたので僕は兎に角決勝に残れると自信してゐましたから樂な氣持であの大きな試合を終りました。

【末 弘】

それではブレストを。

【鶴 田】

私は日本の豫選會を終つてから一月位の間非常な練習をして今までの自分の泳ぎを直さなければならぬと思つてゐるところ、豫選を冬のレコード位でパスして思ふ存分練習も出來ずに向ふへ渡つたのです。向ふへ着いてから、普通なら一週間位たつと段々元の調子が戻つて來るのですが、一週間たつても二週間たつてもまだよい調子になつて來ない。だから非常にあはてまして或晩みんなが寢たあとで「自分の泳ぎを直すのは今の内だ、行違ひがあつて監督と少し位喧嘩してもかまはん。自分の泳ぎについての考へを出して感想を聞かして貰はふ」と思つて松澤さんの部屋へ行つて、相談をした結果現在の私の泳ぎの恰好もほゞ見當がついたんであります。さうしてゐる間に今までの非常な猛練習のためにひどく疲れてゐるのを感じた。どうしても少壯の小池君なんかと一緒に泳

いでをられないです 泳けば泳ぐほど自分の調子が落ちてゆくやうな気がしたのでこれではいけないと、三日の内一回位或は五日の内一回位小池君についてゆき、あとはゆつくり自分のフォームを直して泳いでゆくやうな気持ちでやつた。さうしてゐる間に第一期の練習はしまひました。第二期の練習に入りましてから非常に調子がよくなつた。さうして私も今まで出したことのない二分四十七秒いくらの記録を出したんです。非常にそれに力を得まして又同じやうな調子で三日おき位に頑張つてみましたらそんな記録が二回も三回も出ました。一回だけでは安心出来なかつたですけれども三回も出しましたから或は決勝に巧くいくんぢやないかと思ひました。又小池君を優勝させるためにはまづ私自身強くなつてさうして小池君を後から押上げてやらなければならぬと私自身考へ、又松澤さんからもそんな話を聞いたものですから、どうしても小池君にくつついて行かなければならぬ。「若し君が試合の時に水を一ぱい飲むかターニングを一回やり損ねたりしたら俺が抜いてしまふぞ」と絶えず小池君を勵まし小池君に勝つて貰ふことが私達のお互の気持ちだつたんです。さうして第三期の練習に入つてから自分の體力の衰へを感じ最近随分へばつてゐることを知りました この前のオリンピックでは試合前四日位休みましたが今度ば永くして一週間位休みました。さうして第一豫選になつて、長いこと——一週間か十日間位自分のベストで泳いだことがなかつたものですから、決勝の自信をつけるためと一つにはいゝ記録を出して外國選手を威壓するやうな、脅威を覚えさせるやうな記録を出さなければならぬと頑張つて二分四十六秒二といふよい記録が出たんです。すると小池君がやつぱり同じ記録を出しました。この次のオリンピックの小池君の活躍が思はれて頼もしく思つたです。第二次豫選は決勝を控へてゐるのでゆつくり行かうと思つてゐるところ組合せを見ますと決勝と殆んど變らない——優勝圏内に入るやうな選手ばかりの顔觸が揃つてゐるので、これぢやうつかりしてゐたら準決勝であつ氣なく振られるのぢやないか、横着してゐたらひどい目にあふ、これは一生に一度の泳ぎだと思つて死物狂ひで頑張つてみたんです。さうして小池君が非常に調子がよくてオリンピック記録を破つて一着となり私は二着に入つたんです。翌日の決勝の時は、私は前の二つのレースで既に自信がついてゐますが非常に身體がへばつて來たやうな

気持ちだつたのでウォーミングアップも少しにしまして氣を樂に泳ぎました。それは小池君の優勝は決定的なものだつたので私はたゞ二等に入ればよい。インデフォンツなんか警戒してゐますが、之等に落されるやうなことはないだらうと思つてゐたからです。スタートして百を過ぎるとインデフォンツが頭をもくもく出してゐる。こいつは少し強いぞと思つてついて行きました。百二十位に來て「いつも小池君に抜かれるのは此處だな」と思つて頑張つて泳いだ。そして最後のターンをして見ますと出て來る筈の小池君が一寸も出て來ない。どうしたんだらうと少し心配をしました。そして百五十のターンをしてからすぐラストスタートへ入つてピッチを上げた。いつもの試合の経験として、ラスト十五米位の所では自分でピッチを上げてゐるつもりでも落ちてゐる。此處でピッチ上げなければいけないと上らないピッチを無理に上げて行つた。そしてゴール前五米位に來てもう一つ力を入れて頑張つたんです。着いて見たところが小池君が頭を上げてゐる。隣のイスデフォンツを見たら小池君より少し遅れてゐる。さうして試合はすんだんです。

【小池】

僕は米國へ着いて調子は普通だつたけれども一時腐つてゐる時なんか監督に喰つてかゝつたこともある。それから調子が順調に進んで行つたところが今度は鶴田さんが強くなつて來たものですからどうも心配しながらも心強く思つてをりました。豫選をしてみると鶴田さんが二分四十六秒二のタイムを出してゐるからこれではいかんと思つて僕も泳でみたら二分四十六秒二で、兎に角決勝はせると思つて準決勝を泳いでみたら二分四十四秒九なんかいふタイムが出たもんだから、決勝で鶴田さんをヒネるのは完全に世界記録でも作れると思つて色氣を出した(笑聲)。それが決勝では何だかあがつて負けちやつたんです。あとで考へてみる自分がレースの時に非常にあがつてゐたことも判るし、又確信がなかつたといふこともよく判ります。さうしてレースにのぞむ時は鶴田さんのやうに落付いてないと大きなレースには勝てないといふことを感じました。

(17頁へつゞく)

水上競技會

情報

編輯部

NSR

三重縣水上競技選手權大會

主催 三重水泳聯盟、津市體育會、伊勢新聞社

場所 津市會崎新堀プール(50)

期日 7年8月1日 氣36° 水21°

男子		200 リレー		1. 三重 高農(武市、又木 池田、海老名) 2:04.8		2. 岸野 晃子(縣津女) 1:47.5	
100自	1. 海老名慶一(三重田農) 1:09.0			2. 志摩 水産(山本、山際、尾崎、濱口) 2:06.0	200平	1. 成瀬キヌエ(田丸) 3:50.8	
	2. 山本 久生(志摩水産) 1:09.5					2. 岸野 晃子(縣津女) 3:50.9	
	3. 佐脇 健生(河藝青年) 1:10.7					3. 高柳 國子(田丸) 3:57.0	
200自	1. 松井 數男(四商) 2:39.0	800 リレー		1. 三重 高農(武市、又木 三田、海老名) 11:17.5		小學	
	2. 白井 裕(津中) 2:49.0			2. 四商(別府、中西、伊藤 松井) 1:19.2		50自	1. 大井 滿(小野江) 33.0
	3. 安井 廣中(富中) 2:50.4						2. 中西 英一(田丸) 34.5
400自	1. 加藤 久(陳川) 4:23.2	女子		50自	1. 成瀬キヌエ(田丸) 42.8		3. 伊藤 博(小野江) 35.0
	2. 松井 數男(四商) 5:43.9				2. 加藤 光子(縣津女) 44.9	50背	1. 山川富次郎(津修成) 46.5
	3. 牧野 實(桑中) 5:48.0				3. 山崎 きよ(縣津女) 47.6		2. 村山樹久二(四日市三) 47.0
800自	1. 伊藤 信一(四商) 12:13.2			100自	1. 山崎 きよ(縣津女) 1:51.0		3. 水谷 一雄(四日市七) 50.2
	2. 宮崎 正郎(津中) 12:18.5				2. 水井 チキ(市津女) 1:56.5	100平	1. 内田 亮(四日市七) 1:34.7
	3. 西脇 壽一(富中) 13:05.0				3. 山本 夏子(市津女) 1:57.0		2. 中西 繁夫(津知敬) 1:35.4
100背	1. 中西長兵衛(四商) 1:21.6			50背	1. 國持 節子(縣津女) 59.5		3. 下村 善一(田丸) 1:49.6
	2. 阿部 克巳(四商) 1:24.5				2. 宮崎よし子(市津女) 1:04.6	200 リレー	1. 小野 江(矢野、奥井、中村 佐藤) 2:31.0
	3. 尾崎 暢生(四摩水産) 1:25.8				3. 細川 文子(市津女) 1:06.8		2. 四日市三(村山樹、大川 村上 徳、糸内) 2:31.1
200平	1. 鈴木 信造(四商) 3:10.0			100平	1. 成瀬キヌエ(田丸) 1:45.8		
	2. 武岡 吉平(津中) 3:15.8						
	3. 吉田 二郎(四商) 3:23.0						

第八回水上競技選手權大會

主催 白杵體育協會

場所 白杵中學校水泳場

期日 7年8月4日 氣27 水27°

男子		2. 濱野 宗三(白中) 5:35.0		200平		1. 柳澤榮三郎(延中) 3:09.0	
100自	1. 工藤 信雄(白商) 1:08.8					2. 小野 辰郎(佐中) 3:16.0	
	2. 仲尾 義一(白中) 1:08.9	150自	1. 濱野 宗三(白中) 3:19.5			3. 田口 敏雄(大商)	
	3. 江藤 幸男(白中)		2. 甲斐 孝(白中) 23:46.0	200 リレー	1. 白中(堀、仲尾、江藤、坂本) 2:01.0		
200自	1. 坂本長次郎(白中) 2:28.6		3. 岡田 忠雄(佐中)		2. 大師(久留島、三ヶ尾 園田、立川) 3.6		
	2. 中川 三吉(日代青) 2:33.8	100背	1. 堀 大助(白中) 1:18.0		3. 白商(中嶋 太田、川崎 工藤)		
	3. 川崎 貞雄(白商)		2. 吉田 喜一(佐中) 1:25.0				
400自	1. 坂本長次郎(白中) 5:24.3		3. 加藤 國雄(白中)				

目次に戻る

- 800
リレー 1. 白中(衛藤、堀、坂本、濱野) 10:27.8
2. 白商(吉田、末松、川崎、工藤) 11:12.0
3. 佐中(龜井、池田、岡田、吉田)
- 300メ
ドレー 1. 白中(堀、坂井、坂本) 3:58.4
2. 佐中(吉田、清家、池田) 4:05.6
3. 太商(笠木、田口、佐藤)
- 小學
50自 1. 福本 五郎(日 代) 3:32
2. 板井 政六(海 邊)
3. 高瀬 熊男(保 戸)

- 100自 1. 中村 春義(日 代) 1:18.0
2. 宮崎 徳一(日 代)
3. 竹尾 久夫(仙 水)
- 400自 1. 中村 春義(日 代) 6:27.7
2. 久保田直記(日 代)
3. 後藤 太越(智)
- 100背 1. 濱野 信彦(日 代) 1:32.7
2. 栖野 武夫(海 邊)
3. 佐藤 宮男
- 100平 1. 福本 五郎(日 代) 1:36.3
2. 吉岡 芳雄(保 戸)
3. 徳永 清(仙 水)

- 200
リレー 1. 日代(福本、中村、宮脇、山本) 2:17.6
2. 仙水 3. 保戸
- 400
リレー 1. 日代(宮脇、久保田、山本、中村) 5:30.5
2. 仙水 3. 白男
- 150メ
ドレー 1. 日代(濱野、福本、古本) 2:02.5
2. 海邊 保戸
- 50旗持 1. 戸田 定(仙 水) 51.7
2. 西田 武芳(保 戸)
3. 濱野 信彦(日 代)

第六回信越中等學校水上競技大會

主催 野尻湖游泳協會
場所 長野市營プール(50)
期日 7年8月12日 氣29 水22

- 100自 1. 和田 仁(柏崎商) 1:08.2
2. 岸本喜久二(長野中) 1:09.4
3. 中村勝五郎(須崎中) 1:11.2
- 200自 1. 市村 敬吾(長野商) 2:32.8
2. 林 正弘(諏訪中) 2:36.4
3. 和田 仁(柏崎商) 2:37.2
- 400自 1. 市村 敬吾(長野商) 5:34.2
2. 林 正弘(諏訪中) 5:39.2

3. 野澤 久良(柏崎商) 5:40.4
- 800自 1. 野澤 久良(柏崎商) 12:01.0
2. 伊藤 評久(須崎中) 12:04.8
3. 秋山 詳夫(上田中) 12:11.0
- 100背 1. 池田 邦武(須坂中) 1:21.0
2. 傳田 清(長野工)
3. 柳澤 和衛(諏訪中)
- 200平 1. 櫻井 覺(須崎中) 3:27.6

2. 篠原 源榮(諏訪蠶) 3:33.4
3. 中野 胤男(須崎中) 3:34.2
- 400
リレー 1. 須崎中學 4:50.6
2. 柏崎商業 4:52.6
3. 長野商業 5:00.2
- 得點 須坂中39 柏崎商27 長野商24
諏訪中23 諏訪蠶18 長野中3

第二回和歌山選手權水上競技大會

主催 和歌山縣體育協會、和歌山水泳協會
場所 和歌山中學校プール(25)
期日 7年8月14日

- 100自 1. 田中 繁一 1:05.8
2. 大須賀 滉 1:08.4
3. 河井 敬三 1:11.4
- 200自 1. 田中 繁一 2:27.6
2. 島本 信夫 2:31.2
3. 前川 重樹 2:32.8
- 400自 1. 島本 信夫 5:26.4
2. 前川 重樹 5:29.4
3. 大谷 清一 5:33.8

- 1500自 1. 大須賀 滉 22:10.2
2. 波戸 敏郎 22:26.0
- 100背 1. 土浦 善弘 1:17.8
2. 森 重雄 1:20.2
3. 木下 豊 1:20.6
- 200背 1. 土浦 善弘 2:50.6
2. 森 重雄 2:53.0
3. 木下 豊 2:56.0
- 100平 1. 加藤 清 1:23.0

2. 山本 敏夫 1:27.2
3. 川崎已代男 1:29.4
- 200平 1. 加藤 清 3:04.4
2. 山本 敏夫 3:10.4
3. 川崎已代男 3:12.2
- 800リレー 和歌山水泳協會
(島本長一、西本和郎、前川重樹、土浦善弘) 10:31.0

第六回東部中等學校水上競技大會

主催 全國學生水上競技聯盟
場所 明治神宮プール
期日 7年8月20、21日

- 100自 1. 富樫 誠助(鶴工) 1:03.6
2. 鶴岡 榮(大多喜中) 1:05.8
3. 久保田庄平(濱商) 1:06.4

- 200自 1. 富樫 誠助(鶴工) 2:25.2
2. 市村 敬吾(長野商) 2:31.4
3. 本田惣一郎(房中) 2:33.4

- 400自 1. 新間 六炳(靜中) 5:10.6
2. 中村豊太郎(中農) 5:17.4
3. 寺田 登(見中) 5:19.6

東西優勝校 {中修 泉農 學校} 爭 霸 戰

主 催 全國學生水上競技聯盟、關西學生水上競技聯盟
場 所 神 宮 プ ー ル
期 日 7 年 8 月 27 日

<p>100自 1. 長谷川卯吉美(修) 1:05.2 2. 小林 誠(修) 1:06.8 3. 松田 太郎(修) 1:07.2</p> <p>200自 1. 2. (記録ニ不明ノ點アリ次號ニ) 3.</p> <p>400自 1. 木村 覺(修) 5:20.4 2. 中村 豊太郎(中) 5:23.4 3. 平野 利三郎(中) 5:30.8</p> <p>800自 1. 中村 豊太郎(中) 1:07.8 2. 木村 覺(修) 1:13.4</p>	<p>3. 平野 利三郎(中) 1:16.4</p> <p>50背 1. 渡邊 卓一(修) 34.2 2. 兒島 泰彦(修) 36.8 3. 河野 隼(修) 36.8</p> <p>100背 1. 渡邊 卓一(修) 1:18.6 2. 兒島 泰彦(修) 1:21.0 3. 河野 隼(修) 1:21.4</p> <p>100平 1. 長久 俊三(一) 1:22.8 2. 伊藤 軍吉(中) 1:34.4 3. 伊藤 三郎(中) 1:25.2</p> <p>200平 1. 長久 俊三(修) 3:03.8</p>	<p>2. 伊藤 三郎(中) 3:04.4 3. 佐野 重義(修) 3:06.6</p> <p>400リレー 1. 修道(長谷川 濱内 松田、小林) 1:55.8 2. 中泉(川井、伊藤、村松 鈴木) 2:09.0</p> <p>800リレー 1. 修道(長谷川、小林、渡邊、本村) 10:04.8 2. 中泉(豊田、村松 平野、中村) 10:24.2</p> <p>得點 修道中學102 中泉 62</p>
--	---	--

東 西 中 學 校 對 抗 戰

主 催 全國學生水上競技聯盟、關西學生水上競技聯盟
場 所 神 宮 プ ー ル
期 日 7 年 8 月 28 日

<p>110自 1. 新聞 六炳(東) 1:02.6 2. 富樫 誠助(東) 1:02.8 3. 井上 武(西) 1:02.8</p> <p>200自 1. 新聞 六炳(東) 2:18.8 2. 富樫 誠助(東) 2:22.0 3. 片岡寅次郎(西) 2:23.2</p> <p>400自 1. 新聞 六炳(東) 5:05.8 2. 片岡寅次郎(西) 5:12.8 3. 中村豊太郎(東) 5:15.0</p> <p>800自 1. 中村豊太郎(東) 10:58.2 2. 寺田 登(東) 11:00.0</p>	<p>3. 永見 達明(東) 11:02.0</p> <p>50背 1. 渡邊 卓一(西) 34.4 2. 川野 敏男(西) 34.4 3. 角野 二郎(西) 34.4</p> <p>100背 1. 渡邊 卓一(西) 1:16.0 2. 小川 年男(西) 1:16.6 3. 川野 敏男(西) 1:17.6</p> <p>100平 1. 筒井八男治(東) 1:21.2 2. 大崎卯藤久(西) 1:22.4 3. 山田 弘(西) 1:22.8</p> <p>200平 1. 葉室 鐵夫(西) 2:59.2</p>	<p>2. 筒井八男治(東) 2:59.4 3. 山田 弘(西) 2:59.8</p> <p>400リレー 1. 西部(小野 井上、長谷川、正木) 1:52.2 2. 東部(新聞、鶴間 久保田、富樫) 1:52.2</p> <p>800リレー 1. 東部(富樫 永見 中村、新聞) 9:39.2 2. 西部(長谷川 片岡、平賀、横山) 9:53.6</p> <p>得點 東部97 西部87</p>
--	--	--

昭 和 七 年 度 選 手 權 大 會 九 州 豫 選

主 催 福 岡 縣 水 泳 協 會
場 所 九 大 プ ー ル (25)
期 日 7 年 8 月 30 日

<p>男 子</p> <p>100自 1. 中 村(松泳會) 1:04.8 2. 若 林(佐 賀) 3. 加 藤(水友會)</p> <p>200自 1. 中 村(松泳會) 2:25.9 2. 森 本(松泳會) 3. 秋 吉(日本大學)</p>	<p>400自 1. 桑 野(松泳會) 5:21.6 2. 金 子(水友會) 3. 出 口(大村中)</p> <p>1500自 1. 金 子(水友會) 22:17.4 2. 武 内(傳習館中學) 3. 高 野(水友會)</p> <p>100背 1. 伊藤(傳習館中學) 1:18.0</p>	<p>2. 八 谷(佐 賀) 3. 下 村(水友會)</p> <p>200背 1. 伊 藤(傳習館) 2:51.2 2. 八 谷(佐 賀)</p> <p>190平 1. 益 田(松泳會) 1:26.0 200平 1. 益 田(松泳會) 3:13.1 2. 大 島(大村中學)</p>
---	---	---

- 200
リレー
1. 水友會(下村、角野、橋口、加藤) 1:58.8
 2. 松泳會
 3. 大村中學
- 800
リレー
1. 松泳會(黒木、壽本、桑野中村) 10:11.0
 2. 日本大學
 3. 水友會
- 女子
- 50自
1. 古賀(久留米高女) 35.9
 2. 田上(照本花園)
 3. 砦(久高女)
- 100自
1. 古賀(久高女) 1:22.5
 2. 古閑(九州中央女)
 3. 田尻(花園)
- 200自
1. 木村(福岡高女) 3:28.5

- 400自
1. 古閑(熊本九州中央女) 6:42.4
 2. 木村(福女)
 3. 小野(筑紫高女)
- 50背
1. 正木(筑紫高女) 45.4
 2. 東原(久高女)
 3. 浦田(大村女)
- 100背
1. 正木(筑紫高女) 1:36
 2. 守(筑紫高女)
 3. 宮原(福女)
- 100平
1. 柳瀬(筑紫高女) 1:47.0
 2. 西(大村高女)
 3. 安永(福女)
- 200平
1. 柳瀬(筑紫高女) 3:50.3

- 女子
- 200
リレー
1. 照本城北(田上、後藤、田尻古閑) 2:35.4
 2. 久留米高女
 3. 高岡高女
- 150メ
ドレー
1. 久留米高女クラブ(東原、平岡、古賀) 2:14.0
 2. 筑紫高女
 3. 大村高女
- 備考 縣ノ統制案ヲ懸念シテ學校名ヲ出シテキマセンカ
松泳會トアルハ福岡中學
水友會 修猷館中學

北海道 水上競技大會

主催 小樽體育協會
場所 小樽市立中學プール(25)
期日 7年9月4日 氣21° 水16°

- 100自
1. 竹内 正治(忍路) 1:16.1
 2. 苫米地以佐雄(室中) 1:17.4
 3. 戸城 正吾(室中)
- 200自
1. 神保 浩(樽商) 2:51.0
 2. 竹内 正治(忍路) 3:02.0
 3. 苫米地以佐雄(室中)
- 400自
1. 神保 浩(樽商) 6:20.9
 2. 沖田 龍一(室中) 6:33.4
- 800自
1. 藤原 福光(室蘭) 4:30.9
 2. 中澤 嘉男(綠泳會) 4:33.0
 3. 菊地 忠治(樽商)
- 100背
1. 沖田 龍一(室中) 1:27.1
 2. 福丸 榮治(北海賣炭) 1:31.0
 3. 小原 泰三(余市)
- 200背
1. 福丸 榮治(北海賣炭) 3:27.4
- 100平
1. 谷黒 正二(綠泳會) 1:31.0
 2. 沖田 德二(室中) 1:35.0
- 200平
1. 谷黒 正二(綠泳會) 3:20.0
 2. 沖田 德二(室中) 3:29.0
- 800
リレー
1. 綠泳會(神保、近藤、一谷、中澤) 11:58.1

第一回 札幌中學校競泳大會

主催 札幌水泳協會
場所 中島公園プール(25)
期日 7年9月4日

- 100自
1. 鈴木(一中) 1:13.0
 2. 福島北中 1:15.5
 3. 佐山(北中) 1:17.2
- 200自
1. 鈴木(一中) 2:47.0
 2. 福島(北中) 2:51.8
 3. 伊東(北中) 2:55.0
- 400自
1. 坪内(札商) 5:59.8
 2. 河野(札商) 6:16.2
 3. 伊東(北中) 6:7.5
- 800自
1. 坪内(札商) 12:39.4
- 100背
1. 伊東(北中) 1:28.2
 2. 直井(一中) 1:35.0
 3. 櫻井(一中) 1:40.0
- 100平
1. 梶浦(二中) 1:25.5
 2. 安孫子(一中) 1:26.2
 3. 桑崎(一中) 1:30.7
- 200平
1. 梶浦(二中) 3:04.1
 2. 安孫子(一中) 3:08.5
- 800
リレー
1. 札商(佐野、由月、佐瀬、坪内) 11:54.0
 2. 北中 12:11.2
 3. 一中 12:20.1
- 得點 札商64 北中58 一中49
二中26

日 選 手 本 權 關 東 豫 選 大 會

主 催 關 東 水 泳 協 會
場 所 明 治 神 宮 外 苑 プ ー ル (50)
期 日 7 年 9 月 11 日 氣 4 水 24°

男 子		1:30.4 飛 板
100自	1. 梅田利兵衛(高 師) 1:04.8 2. 細谷 定一(中 大) 1:06.2 3. 伊藤 廣吉(銚 子 青) 1:07.0	200平 1. 鷺尾 弘賢(中 大) 3:03.2 飛 込 2. 龜山 六藏(慶 普) 3:21.8 (男)1. 原 酉 三(慶 大) 127.8 3. 海老原三郎(講武永田流) 3:23.8 2. 原 秀 夫(慶 大) 119.04 3. 杉原 雪夫(慶 大) 117.32
200自	1. 梅田利兵衛(高 師) 2:28.8 2. 細谷 定一(中 大) 2:31.8 3. 栗田 榮司(麻 布 中) 2:39.0	女子
400自	1. 市村 定幸(法 大) 5:33.4 2. 伊藤 廣吉(銚 子 青) 5:37.4 3. 大西 正隆(日 大 工) 5:47.8	100自 1. 大木 櫻子(府立第六) 1:25.2 2. 永井惠美子 60.30 2. 河村 靜子(橫 濱) 1:23.6 3. 大瀨千枝子 58.66 3. 宮崎波奈子(水 戸) 1:26.6 高飛込
1500自	1. 市村 定幸(法 大) 22:23.2 2. 小川 晃 22:23.4 3. 大西 正隆(日 大 工) 22:23.6	200自 1. 河村 靜子(橫 濱) 3:20.4 (男)1. 岩切 盛行(明 大) 85.10 2. 須藤 光子(橫 濱) 3:23.0 2. 末 次 保(T D C) 77.28 3. 川田 泰代(東京女俱) 3:27.6 3. 永松 武(F D C) 69.96
100平	1. 鷺尾 弘賢(中 大) 1:22.0 2. 龜山 六藏(慶 普) 1:29.4 3. 海老原三郎(講武永田流)	400自 1. 西本二三子 7:21.8 (女)1. 永井惠美子 37.22 2. 高野 滿江 7:40.8 2. 大澤 禮子(九段精華) 33.04 3. 羽村 京子(西多摩) 8:18.8 3. 林 悦 子(九段精華) 30.86

昭和七年度宮城水上競技選手權大會、兼日本水上競技選手權宮城豫選會

主 催 宮 城 水 泳 協 會
場 所 仙 臺 市 愛 宕 プ ー ル (50)
期 日 7 年 9 月 11 日 午 前 九 時 氣 22.9°C 水 22.4°C

100自	1. 岡部 泰華(福 陽) 1:04.7 2. 青柳 幸吉(福 陽) 1:08.4 3. 庄司 隆(仙 一 中) 1:09.0	2. 佐藤 利次(宮 城 工) 1:23.4 3. 大和 和夫(仙 高 工) 1:27.4	2. 角田町(遠藤宏治、佐藤 細川、遠藤宏一) 10:41.4
200自	1. 青柳 幸吉(福 陽) 2:39.2 2. 鈴木 誠吾(鹽 釜) 2:43.4 3. 庄司 隆(仙 一 中) 2:43.2	200背 1. 遠藤 宏治(角 田 町) 2:59.0 2. 佐藤 利次(宮 城 工) 3:15.0 3. 大和 和夫(仙 高 工) 3:15.1	3. 廣瀨(小野、菊地、高橋 飯村) 11:37.0
400自	1. 佐藤 久一(福 陽) 5:34.6 2. 河原 田 穫(福 陽) 5:33.2 3. 細川佐太郎(角 田 町) 5:47.4	100平 1. 津田 豊雄(馬 陵) 1:28.0 2. 阿部 萬(宮 師) 1:32.0 3. 本田 忠男(宮 工) 1:32.2	初等飛板飛込 1. 高橋 友一(S S N) 38.45 2. 山崎 勉(宮 師) 31.00
1500自	1. 河原田 穫(福 陽) 22:13.3 2. 佐藤 久一(福 陽) 23:02.5 3. 池田 福平(角 田 町) 25:17.8	200平 1. 津田 豊雄(馬 陵) 3:22.6 2. 本田 忠男(宮 工) 3:25.3 3. 阿部 萬(宮 師) 3:30.2	女子公開50自 1. 門 馬(女子專) 45.2 2. 大 森(五橋實科) 50.7 3. 鷺 尾(五橋小) 55.8
100背	1. 遠藤 宏治(角 田 町) 1:20.4	800 リレー 1. 福陽(岡部 河原田 青柳、 佐藤) 10:35.6	

第 五 回 中 等 學 校 水 上 競 技 大 會

主 催 大 分 縣 體 育 協 會
場 所 白 杵 中 學 校 プ ー ル (50)
期 日 7 年 9 月 11 日 氣 32° 水 27°

100自	1. 立川 武士(師) 1:06.1	2. 岡田 忠雄(佐 中)23:37.0	濱野)	10:43.0
	2. 佐藤 正木(大分商) 1:08.8	3. 首藤 次夫(白 商)24:39.2	2. 佐中	11:12.9
	3. 衛藤 幸夫(白 中) 1:11.2	100背	3. 師範	11:15.2
200自	1. 坂本長二郎(白 中) 2:30.6	1. 吉田 喜一(佐 中) 1:21.2	飛板飛込(一米初等)	
	2. 川崎 貞直(白 商) 2:39.0	2. 堀 大 助(白 中) 1:21.2	1. 佐久間正一(白 中) 38.84	
	3. 衛藤 幸夫(白 中) 2:40.2	3. 笠木 定吉(大分商) 1:22.4	2. 首藤 武久(白 中) 36.84	
400自	1. 濱野 宗三(白 中) 5:23.3	200平	3. 佐藤 芳雄(師) 31.79	
	2. 池田 定(佐伯中) 5:39.8	1. 板井 壽(白 中) 3:08.7	高 飛 込(五米初等)	
	3. 坂本長次郎(白 中) 5:41.7	2. 清家 初一(佐 中) 3:13.5	1. 佐久間正一(白 中) 38.52	
800自	1. 濱野 宗三(白 中)11:25.1	3. 徳本 嘉宏(白 中) 3:17.0	2. 古長 龍夫(師) 23.74	
	2. 池田 定(佐伯中)12:14.3	200 リレー	3. 佐藤 芳雄(師) 23.04	
	3. 岡田 忠雄(白 中)12:22.8	1. 師範(立川、三ヶ尻 久留米、 園田) 2:02.4		
1500自	1. 甲斐 孝(白 中)23:30.0	2. 白中 2:03.4		
		3. 白商 2:05.8		
		800 リレー		
		1. 白中(衛藤、坂本 仲尾、		

正 誤 表

第13号「標準泳法」中次の誤りあるにつき訂正す。

- 5頁 足の動作 一バタ足「水面に伏し兩脚を」の次に「揃へ足首の力を抜き」を入れる。
二扇足「上の脚を」の次に「腹側に下の脚を」を入れる。
四踏足「交互に外上方を」「交互に外下方」とす。
- 6頁 一姿勢「屈める」を「屈ける」とす。
- 6頁 二手の使の方 最下行「接き始める」は「掻き始める」
三「足の使ひ方」は「手の使ひ方」
三 足の使ひ方第一行「拇措」は「拇指」
右 5行「関係にある」は「……なる」
- 7頁 左17行 最初の「時」を最終に送る。
右 3行「樂にする」は「樂にする」
- 8頁 左13行「搏き方」は「掻き方」
右 1行 最後の。を除く
- 8頁 右 5行「手胴」は「手脚」

- 右13行「外肢」は「外股」
右16行「原置」は「原位置」
- 9頁 左 4行「更左下」は「更に左下」
右 5行「(右脚)が」を「(右脚を)とす」
- 10頁 左 3行「浅き」は「深き」
左 5行「進する」は「進行する」
左12行「掻き上げ」の次に「下方の手は」を入れる
13行「ことある」は「ことにある」
- 10頁 左14及15行「潜入した」は「潜入し」
- 10頁 左最下行「體力」は「體の力」
右 4行「速く」は「遠く」
右 6行「兩足の拇指」の次に「を臺の先端に」を入れ「一、寸」は「一、二寸」とす
右12行「兩足を揃へ」は「兩手を……」
右15行「半」を「平」とす
- 11頁 左 3行「上ぎ」は「上げ」
右 3行「没んる」は「没する」

第十一回 國 學 生 水 上 競 技 大 會

ロサンゼルスに於ける快勝の夢未ださめやらぬ九月二十三、四、五の三日間第十一回の intercollege の競泳大會が開かれた。オリンピックに出場した選手中、中等學校の生徒と他の一二の選手を除く外ことごとくこの凱旋最初の競技會に祖國愛より母校へと立ち戻つて出場するのでその活躍が期待された。

第一部 9 校、第二部 19 校の多數が參加し、その參加選手の數に於ても、各選手の技倆の進歩から見

ても實に堂々たる競技會であつた。第一部に於ては昨年の覇者早大は依然他を壓して堂々優勝し、又豊田、遊佐、杉本等の超弩級と幾多の新進を擁する日大が急に頭角を現して慶應を抜いて第三位に昇つたのは目覺ましい。第二部に於ては本年始めて參加した名古屋高商が清川以下何れも各種目に活躍して斷然他を壓して優勝したのは初陣として未だ見ざる立派な成績であつた。

	一 部		二 部		
50自	1. 高橋 成夫(早)	26.4	日對	50自	1. 栖原 正(商大) 29.0
	2. 宮本 武夫(早)	26.4	日對		2. 渡邊 秀光(高師) 29.0
	3. 河石 達吾(慶)	26.8			2. 俵 正道(東高) 29.0
	4. 早川 貞正(横工)	28.0			岡田 傑(明薬) 29.0
	5. 松浦 武雄(立)		6. 熊野 佐一(早)	5.	妹尾滿喜夫(水産)
100自	1. 片山 兼吉(明)	60.0		100自	1. 梅田利兵衛(高師) 1:02.5
	2. 高橋 成夫(早)	60.4			2. 小井手義雄(名商) 1:05.0
	3. 豊田 久吉(日)	60.4			3. 細谷 定一(中大) 1:05.4
	4. 河石 達吾(慶)	61.2			4. 栖原 正(商大) 1:06.8
	5. 宮本 武夫(早)		6. 志村 義久(早)	5.	奥西 真人(名商)
200自	1. 横山 隆志(早)	2:15.2	日國新	200自	1. 梅田利兵衛(高師) 2:27.6
	2. 大横田 勉(明)	2:18.4	日新		2. 小井手義雄(名商) 2:28.8
	3. 豊田 久吉(日)	2:19.8			3. 細谷 定一(中大) 2:32.0
	4. 志村 義久(早)	2:20.4			4. 奥西 真人(名商) 2:35.0
	5. 坂上安太郎(早)		6. 武村 清(明)	5.	佐原幸一郎(商大)
400自	1. 横山 隆志(早)	4:57.6		400自	1. 諫早 三郎(名商) 5:21.6
	2. 大横田 勉(早)	5:03.2			2. 尾崎 申一(名商) 5:27.2
	3. 米山 弘(早)	5:04.0			3. 須崎 秀夫(横商) 5:33.2
	4. 武村 清(明)	5:08.8			4. 今枝 正治(名商) 5:37.6
	5. 坂上安太郎(早)		6. 根上 博(立)	5.	中野八十二(高師)
800自	1. 米山 弘(早)	10:43.0	大會新	800自	1. 諫早 三郎(名商) 11:11.2
	2. 武村 寅雄(明)	10:48.0			2. 尾崎 申一(名商) 11:21.8
	3. 竹林 隆二(早)	10:56.6			3. 須崎 秀夫(横商) 11:39.6
	4. 根來 幸成(慶)	10:52.2			4. 今枝 正二(名商) 11:55.8
	5. 根上 博(立)		6. 小森 正巳(慶)	5.	中野八十二(高師)
50背	1. 河津憲太郎(明)	31.8	日新	50背	1. 清川 正二(名商) 31.6 日國對
	2. 入江 稔夫(早)	32.2	日對		2. 永廣宇之助(名商) 35.6
	3. 鈴木 政雄(明)	32.8			3. 上野 大藏(商船) 36.2
	4. 片山 兼吉(明)				4. 水谷卯三郎(商大) 37.9
	5. 勝久 重隆(早)		6. 井上贊一郎(慶)	5.	上田 和一(中大)
100背	1. 河津憲太郎(明)	1:10.6	日國新、日新、大會新	100背	1. 清川 正二(名商) 1:10.2 日國新
	2. 入江 稔夫(早)	1:11.4			2. 永廣宇之助(名商) 1:17.8

	3. 鈴木 政雄(明)	1:13.8
	4. 勝久 重隆(早)	1:15.6
	5. 根來 幸成(慶)	6. 井上質二郎(慶)
100平	1. 岡田 達男(日)	1:19.0
	2. 松本 隆重(早)	1:21.4
	3. 關 禮治郎(明)	1:22.0
	4. 安 永 弘(日)	1:22.4
	5. 中村 秀吉(立)	6. 藤本 敏郎(早)
200平	1. 關 禮治郎(明)	3:00.8
	2. 岡田達 男(日)	3:00.8
	3. 松本 隆重(早)	3:01.8
	4. 藤本 敏郎(早)	3:05.0
	5. 調子 光二(早)	6. 安 永 弘(日)
200 リレー	1. 早大(宮本、坂上、志村、高橋)	1:47.4 <small>大會新</small>
	2. 慶應(西龜、松岡、小川、河石)	1:52.4
	4. 明大(藤野、武村、内山、片山)	1:53.3
	5. 立大(根上、由本、關口、松浦)	1:53.4
	5. 日大	6. 法大
800 リレー	1. 早大(坂上、志村、米山、横山)	9:16.2
	2. 明大(武村寅、片山、武村清、大横田)	9:19.2
	3. 慶大(小森、根來、山本、河石)	9:43.2
	4. 立大(根上、田部、關口、松浦)	9:54.8
	5. 日大	6. 法大

	3. 上野 大藏(商船)	1:18.6
	4. 川島 達男(名商)	1:22.4
	5. 水谷卯三郎(商大)	6. 鹽田芳久(高師)
100平	1. 鷺尾 弘賢(中大)	1:22.4
	2. 磯野 勵三(名商)	1:26.4
	3. 宇野 壽一(水産)	1:28.2
	4. 五味 信(東高)	1:28.6
	5. 星野 保夫(一高)	6. 湊 實(高師)
200平	1. 磯野 勵二(名商)	3:04.4
	2. 鷺尾 弘賢(中大)	3:07.8
	3. 宇野 壽一(水産)	3:16.6
	4. 五味 信(東高)	3:17.0
	5. 大井 忠紀(商大)	6. 高田國男(一高)
200 リレー	1. 高師(浦邊、鹽田、生崎、梅田)	1:56.6
	2. 名商(小井手、諫早、奥西、清川)	1:57.0
	3. 商大(佐原、多田、世良、栖原)	1:59.8
	4. 一高(永岡、瀧藤、高田、後藤)	2:00.0
	5. 水産	6. 商船
800 リレー	1. 名商(諫早、小手井、奥西、尾崎)	10:16.0
	2. 中大(久保田、卯月、渡邊、細谷)	10:42.6
	3. 高師(中野、生崎、鹽田、梅田)	10:43.8
	4. 商船(前島、内田、中村、上野)	10:58.8
	5. 商大	6. 一高

得點一部

優勝	早大 11	2. 明大 71	3. 日大 28
	4. 慶應 24	5. 立大 13	6. 横工 3
	5. 法大 2	8. 帝大、國大 0	

得點二部

優勝	名古屋高商 96	2. 高師 35	3. 中大 29
	4. 商大 25	5. 商船 13	6. 水産 12
	7. 東高 10	8. 一高及横商專 8	

かくて第一部では早大又々優勝し、無得點の帝大及國大は二部に落ち、第二部の優勝校名古屋高商及第二位の高師が第一部に昇つた。

尙大學に入學した新人はその第一年は競技に参加出来ない規則になつてゐるが、本年からは之等新進選手の紹介を兼ねて新人のみの競泳を行ふことにな

つた。

100自	1. 遊佐 正憲(日大)	60.6
	2. 高木 茂雄(早大)	1:05.4
	3. 鬼 俊 英(立大)	1:05.5
400自	1. 石原田 愿(明大)	5:00.2
	2. 杉本 盛(日大)	5:19.2
	3. 田中 一男(早大)	5:23.2
100背	1. 秋吉十九夫(日大)	1:16.4
	2. 古 川 正(立大)	5:25.2
	3. 竹内 八郎(法大)	1:29.6
200平	1. 奥藤 修(明大)	2:55.8
	2. 前田 倍三(早大)	3:01.2
	3. 古莊 次平(早大)	3:02.2

學生
聯盟新

全 國 學 生 飛 込 競 技 大 會

昭和7年9月18日 於神宮外苑水泳場

曇 軟風 氣温19°C 水温22°C

高 逆飛(5及10米の立及走前逆飛)13名出場

1. 生江 哲太郎	明大	32.70
2. 杉原 雪夫	慶大	31.80

3. 清 水 治	慶大	31.48
4. 石 川 金 繼	明大	26.62
5. 三 谷 晃	東洋大	25.12
6. 高橋 庄之助	早大	25.06

飛板飛込 9名出場

1. 生江哲太郎	明大	124.54
2. 原秀夫	慶大	118.00
3. 原酉三	慶大	114.60
4. 杉原雪夫	慶大	112.84
5. 岩田盛行	明大	101.02
6. 石川金繼	明大	88.60

高飛込 8名出場

1. 原秀夫	慶大	81.56
2. 岩切盛行	明大	78.46
3. 三谷晃	東大洋	59.16
4. 西海土孚	早大	55.60
5. 本多忠雄	日大	35.48
6. 門倉孝司	慶大	34.74

備考 山本鎮雄(高師)は 44.04 を得たるも資格問題を生じ、その成績を保要さる、後に全国學生水上競技聯盟實行委員會に於て、その出場を取消され上記の通り順位を決す。

各校得点表

	高逆飛	飛板飛込	高飛込	合計
1. 慶大	9	12	8	29
2. 明大	10	9	5	24
3. 東洋大	2	0	4	6
4. 早大	1	0	3	4
5. 日大	0	0	2	2
帝大	0	0	0	0
高師	0	0	0	0

中等學校招待飛板飛込

(初等男子飛板飛込) 6名出場

1. 杉野尙	青山學院中學	61.08
2. 小笠原義郎	日大三中	52.66
3. 山口次郎	早實	51.92

中等學校招待高飛込

(初等男子高飛込) 1名出場

1. 山口次郎	早實	29.56
---------	----	-------

編輯後記

讀者諸君が鶴首して待たれた「オリンピック優勝號」は例によつて甚だ遅延致しまして相済みません。



本號記事の大部分はオリンピックに行つた役員や選手を煩はしたものです。歸朝後間もない方々の多忙を推して御願致しました。何れも熟讀に値すると思ひますが、中にも「オリンピック水上競技戦蹟」はアメリカのオリンピック委員から我水上聯盟に到着したオフアシャル、レポートに依つたもので最も正確なものです。



オリンピックに關しては、出發より競技、歸國、座談會、外國新聞の批評、寫眞等と雑誌には載せ切れない程の材料が集つてゐます。近い中に報告書の如きものを編輯して一般に頒ち度いと考へてゐます。



編輯の事について二三の御注意や、御しかりを受けてゐますが、出来るだけ皆様の御希待に添ふやうに心掛けて行き度いと思ひます。

松澤コーチの「オリンピック競泳印象記」は是非本號に掲載致したかつたが期日におくれたため残念ながら次號に廻します。十二月號を御楽しみに御待ち下さい。



日本水上競技聯盟機關雜誌 **水泳** 第十三號

定價三十錢 一年六回隔月發行

豫約申込者に限り販布す (一年前金豫約は送料不要)

廣告料 十圓乃至三十五圓

御申込次第詳細回答

昭和七年十月二十九日納本

昭和七年十月三十日發行

編輯兼發行人 鶴岡英吉 (日本水上競技聯盟代表)

印刷者 君島潔

印刷所 共同印刷株式會社

東京市小石川區久堅町一〇八

發行並所 東京市四谷區神宮外苑プール

日本水上競技聯盟編輯事務所

振替貯金東京三九九一九番

水泳は正しき指導に依る

日本水上競技聯盟編

(新刊)

四六判美裝
挿繪一〇〇個

價一、八〇
送二、四〇

水泳指導要項

讃へよ！海の彼方ロサンゼルスの特設プールで、吾等の代表達は世界記録を破り、メインマスト高く日章旗を掲げた！
日本の水泳が茲數年間に驚ろくべき發達をとげ今や世界に覇を唱ふる事が出来た。さうした實力を敢てした裏には目間苦るしい聯盟當事者 コーチ諸氏の苦心が秘められてある。
今、日本水泳界の巨匠達がその得意とする専門の秘術を公にされたのが本書である。識者が水のバイブルだと激賞し、實際競技者はこれこそ信じ得べき水泳の原書だと感激してゐる。本書こそは新らしき標準泳法を知らんとする人、指導者、學校當事者の必備すべき名著である。

執筆者

石本巳四雄
飯田光太郎
杉本一鶴
松澤正一
原崎保正
島崎保正
水谷泰夫
吉本祐一
杉田忠治
太田正隆
岡本勤亨
柳田亨

目次

標準泳法……………	救助法……………
泳法種目及び説明……………	水泳場所選定……………
水泳指導員檢定標準……………	水上競技の概況……………
水泳教授法……………	競泳……………
	飛込……………
	水球……………
	水泳醫事……………
	急救處置……………
	水泳補助運動……………

佐藤三郎氏著
宮畑希彦氏著

訂改 水

クロールカード

泳 (第十三版) (第六版)

美四 六判 價一、八〇
カ三 五判 送價一、二〇
一五 下判 送價〇、五〇
二〇

東京 神田 南橋 甲賀 町九
目黒 書店

發賣